再生プラスチック製階段

リバーザー・ステップ

・NETIS 令和 6 年度準推奨技術
「新技術活用検討会議（国土交通省）」に選定されました

・NETIS 令和 5 年活用促進技術に指定されました

国土交通省　新技術情報提供システム
NETIS 登録番号: SK-180020-VE
名称:法面設置点検用階段・非常階段
事後評価済み技術（令和 5/11/8）

ARIC（農業農村整備情報総合センター）
NNTD（農業農村整備民間技術データベース）に
令和 7 年 11 月登録されました　登録番号：1446
技術名称：再生プラスチック製階段 リバーザー・ステップ

新東化成株式会社

リバーザー・ステップ　カタログ　INDEX

リバーザー・ステップとは 2

リバーザー・ステップ階段本体 3

リバーザー・ステップ 有効斜距離・部材重量 4

リバーザー・ステップ選定フロー 5

リバーザー・ステップ杭長さ目安表 6

リバーザー・ステップ　参考歩掛 7

施工に使用する工具 8

多様な施工タイプのご紹介

- 柔らかい地山 9
- 硬い地山 10
- コンクリート面 11
- 岩部 12

横幅連結

- 柔らかい地山 13
- 硬い地山 14

急傾斜階段　梯子型 15

踊り場 17

本体取付タイプの手摺 19

施工手順 21

取り扱いについて 23

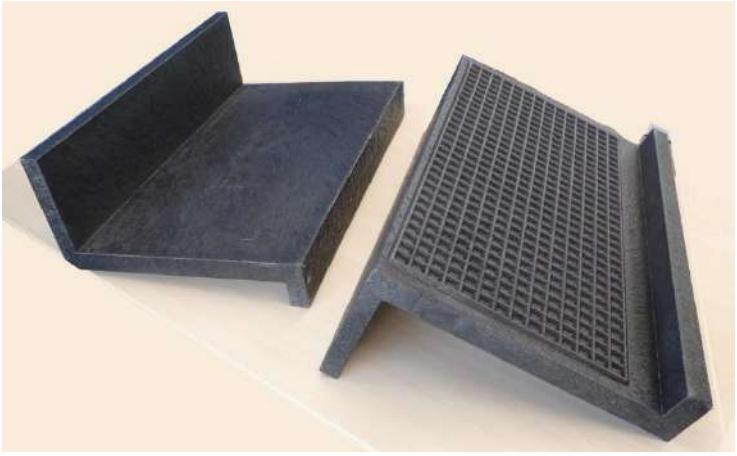
施工例 現場写真 24

リバーザー・ステップとは

当社は、循環型社会の実現に貢献するため、早くから再生プラスチックを有効活用した製品づくりに取り組んでまいりました。その中で、当社の独自技術を駆使して開発された製品「リバーザー・ステップ」は、再生プラスチック製階段の先駆けとしてリリースされました。本製品は簡易的に階段を構築できる利便性が評価され、現在では、重機などの使用が難しい山間部や公共インフラの点検用階段、管理用階段として幅広く採用されています。

厚肉成型で優れた耐久性

リバーザー製品は黒色材で、耐候性に優れ、施工から 25 年以上が経過しても施工当時と変わらず使用されている実績があります。製品は厚肉で紫外線劣化に強く耐久性に優れています。肉抜きをしておらず、そのため重量感はありますが、プラスチック一体形成による十分な強度を有しています。



ステップ本体裏面と表面（裏面肉抜きなし）

踏板部 t30㎜, 蹴上部 t25㎜

階段本体：踏板部 t=30㎜ 蹴上部 t=25㎜ 裏面肉抜きなし
たわみ量試験：3.5KN/㎡又は 1.0KN/枚のいずれか大きい荷重で、
たわみ量は L（横幅）/200 以下（Φ160 載荷板による集中荷重）
耐候性試験：UV テスター3000 時間照射（屋外暴露 30 年に相当）後、
曲げ強度保持率 85%以上

さまざまなのり面に対応が可能

階段幅は　450㎜/500㎜/600㎜/750㎜/1000㎜/1200㎜ の 6 種類。横幅連結も可能ですので、さまざまなニーズに対応できます。

施工タイプも多様なのり面に対応しており、地山はもちろん、岩盤部やコンクリート面にも取付可能です。傾斜 52 度以上には急傾斜用階段で対応出来ます。

施工性にも優れています

プレハブ式のため、地表面を削らずに施工可能。降雨・積雪等の地表面の変化の影響を受けにくく、地表面を覆うため除草の省力化も期待できます。

インパクトドライバーや電気ドリル、手ハンマー程度で施工できるため、施工費を抑えることができ、経済性にも優れています。

二次加工が容易です

木材と同じように加工ができます。

＊穴あけには鉄工用刃を取り付けた電動ドリルをご使用ください。

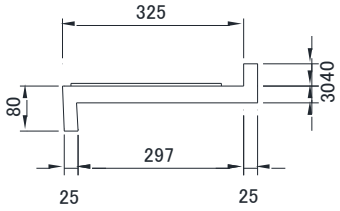
＊切断は電動丸ノコで、刃はチップソーをお使いください。

リバーザー・ステップ　階段本体

若干の寸法公差があります

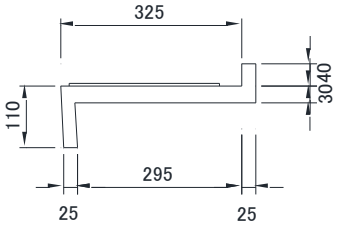
15 度用

目安：1/4.0 から 1/3.5 までに対応
12 度から 16 度までに対応



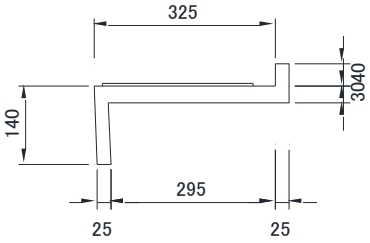
20 度用

目安：1/3.4 から 1/2.6 までに対応
17 度から 21 度までに対応



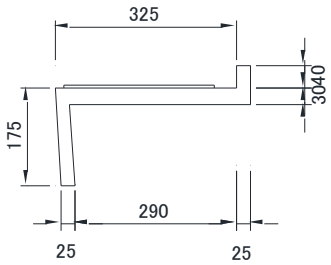
25 度用

目安：1/2.5 から 1/2.1 までに対応
22 度から 26 度までに対応



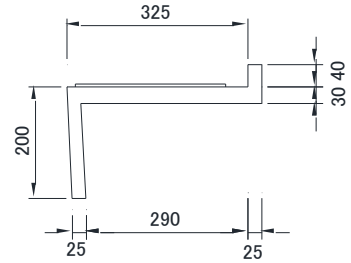
30 度用

目安：1/2.0 から 1/1.7 までに対応
27 度から 31 度までに対応



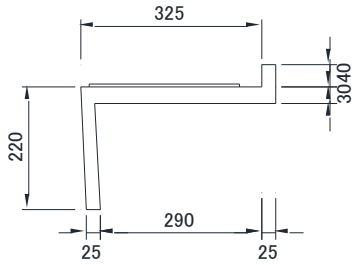
1：1.5 用

目安：1/1.6 から 1/1.5 までに対応
32 度から 1：1.5 までに対応



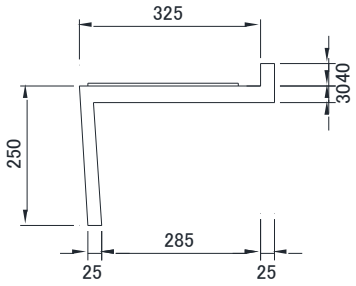
35 度用

目安：1/4.9 から 1/1.40 までに対応
34 度から 36 度までに対応



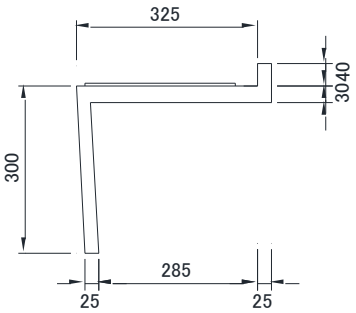
40 度用

目安：1/1.3 から 1/1.2 までに対応
37 度から 41 度までに対応



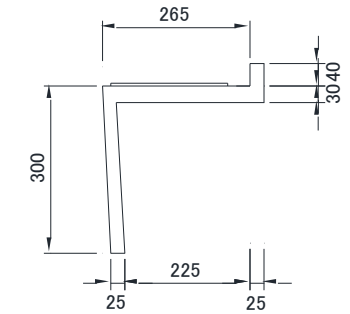
45 度用

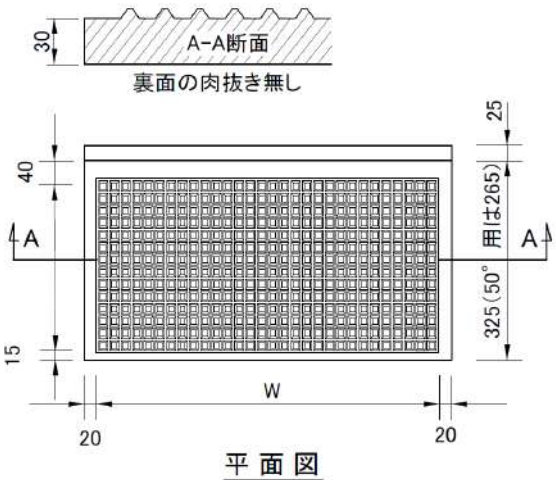
目安：1/1.1 から 1/1.0 までに対応
42 度から 46 度までに対応

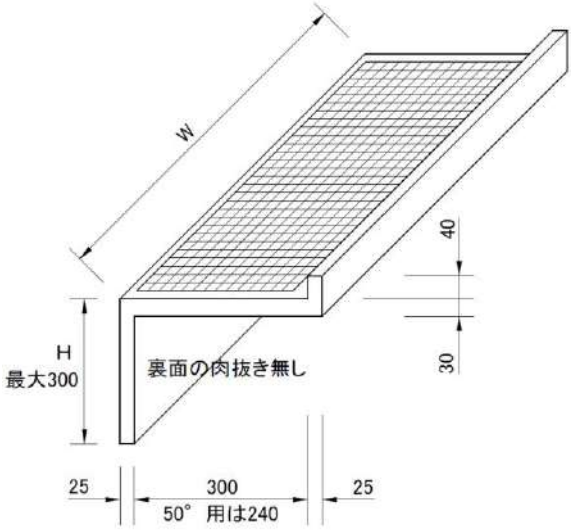


50 度用

目安：1/0.9 から 1/0.7 までに対応
47 度から 51 度までに対応



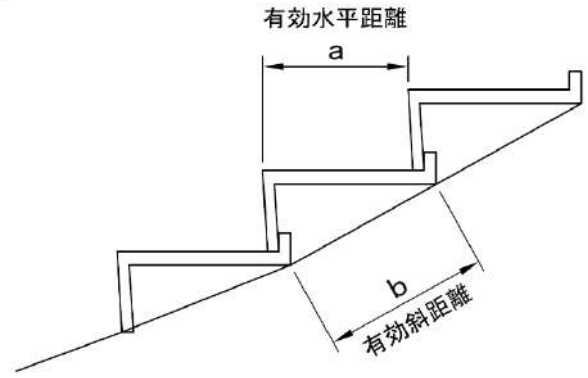




＊当社製品の型番を確認する場合は、H寸法（蹴上部寸法）とW寸法（幅寸法）を確認下さい。

リバーザー・ステップ　有効斜距離・部材重量

若干の寸法公差があります



＊斜長を有効斜距離で割ったものが、階段段数の目安数量となります。
（階段の設定により異なる場合がありますので、詳細は当社にお問い合わせください。）

階段材　重量

傾斜（勾配）	H寸法	有効水平距離（a）	有効斜距離（b）	型番　＊幅：w寸法					
				450幅	500幅	600幅	750幅	1000幅	1200幅
傾斜15°用	80mm	297mm	310mm	HS-15	HS-15G	HS-15L	HS-15LS	HS-15LL	HS-15W
傾斜20°用	110mm	295mm	315mm	HS-2	HS-2G	HS-2L	HS-2LS	HS-2LL	HS-2W
傾斜25°用	140mm	295mm	325mm	HS-25	HS-25G	HS-25L	HS-25LS	HS-25LL	HS-25W
傾斜30°用	175mm	290mm	340mm	HS-3	HS-3G	HS-3L	HS-3LS	HS-3LL	HS-3W
勾配1:1.5用	200mm	290mm	355mm	HS1:1.5	HS1:1.5G	HS1:1.5L	HS1:1.5LS	HS1:1.5LL	HS1:1.5W
傾斜35°用	220mm	290mm	365mm	HS-35	HS-35G	HS-35L	HS-35LS	HS-35LL	HS-35W
傾斜40°用	250mm	285mm	380mm	HS-4	HS-4G	HS-4L	HS-4LS	HS-4LL	HS-4W
傾斜45°用	300mm	285mm	415mm	HS-45	HS-45G	HS-45L	HS-45LS	HS-45LL	HS-45W
傾斜50°用	300mm	225mm	375mm	―	HS-5G	HS-5L	HS-5LS	HS-5LL	HS-5W

階段周辺部材　重量

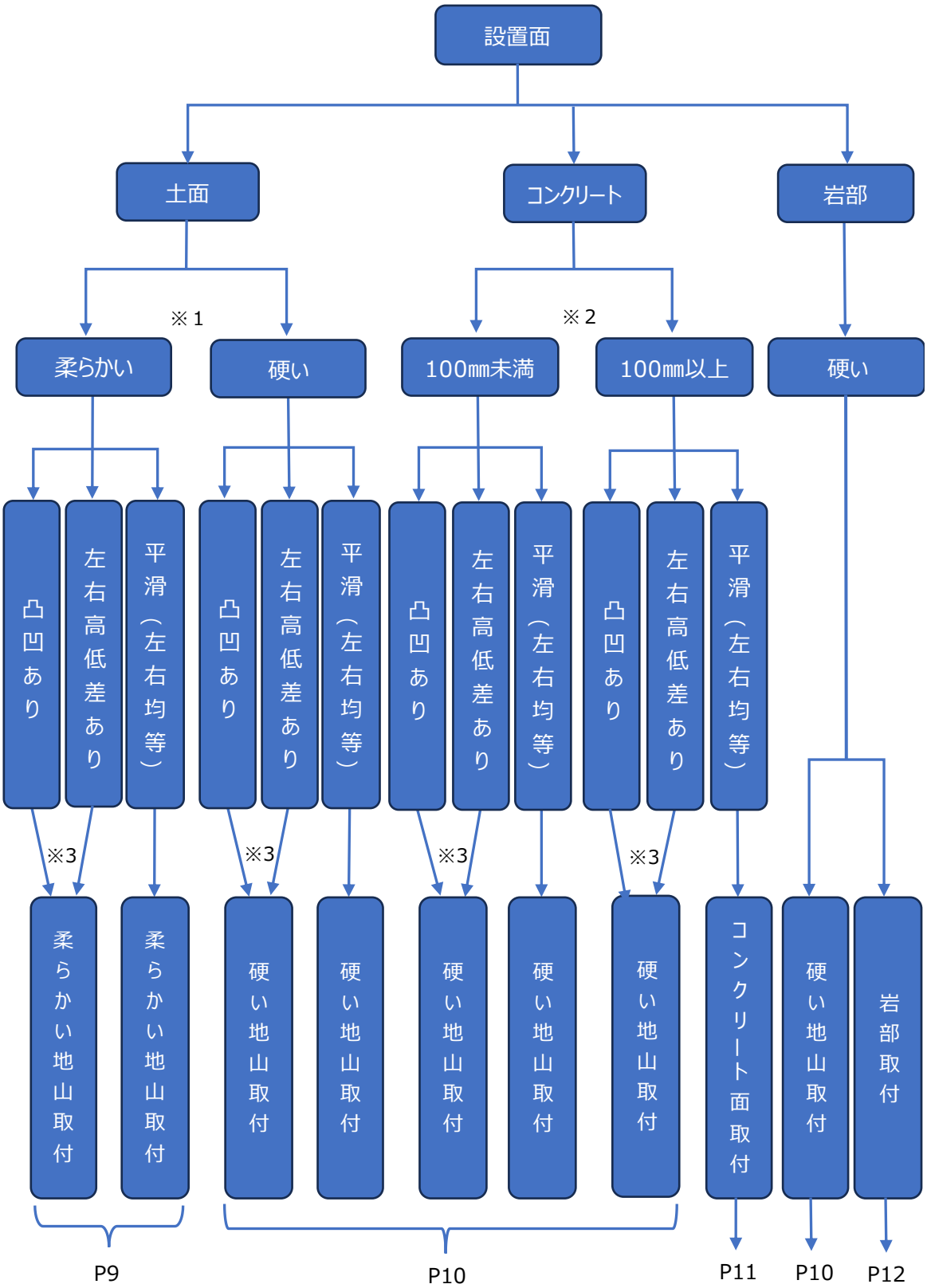
品名	規格	重量
角材	90×90×2000	14.6kg
	120×90×2000	19.4kg
板材	300×30×600	6.1kg
すべり止付	300×30×1000	10.1kg
角杭	50×50×750	1.7kg
調整用角材	90×90×450	3.3kg
	90×90×600	4.4kg
	90×90×750	5.5kg
	90×90×1000	7.3kg
	90×90×1200	8.7kg
連結板	50×20×300	0.4kg

品名	規格	重量
ホールインアンカー SUS	M10×120	0.08kg
	M10×150	0.10kg
異形鉄筋杭プラケット・ボルトセット	D16×750 FB-1.0×30(SUS) M10×120	1.30kg
ボルト・ナット溶融亜鉛メッキ	M10×170	0.13kg
	M10×200	0.15kg
アンカー溶融亜鉛メッキ	M16×500	0.8kg
	M16×1000	1.6kg
コーススレッド	65mm	4g
	100mm	9g

手摺材　重量

品名	規格	重量
支柱	φ60.5×3.2×1385 茶色（ボルトM10×85含む）	6.3kg
取付金具	44×83×3 茶色（ボルトM8×65含む）	0.2kg
手摺ビーム	φ42.7×2.3×1878 茶色	4.1kg
手摺支持金物	PL-150×90×t6.0　茶色（ボルトM12×130含む）	1.1kg
手摺補強金物	FB-4.5×38+4.5×50　茶色（ボルトM10×40L,30L含む）	1.1kg

リバーザー・ステップ選定フロー



※1：土面の柔らかい硬いの判断は、50㎜の角杭が50㎝以上打ち込めれば柔らかいとなります。

◎N値3～4＝柔らかい地山　　◎N値5以上＝硬い地山

※2：コンクリートの厚み

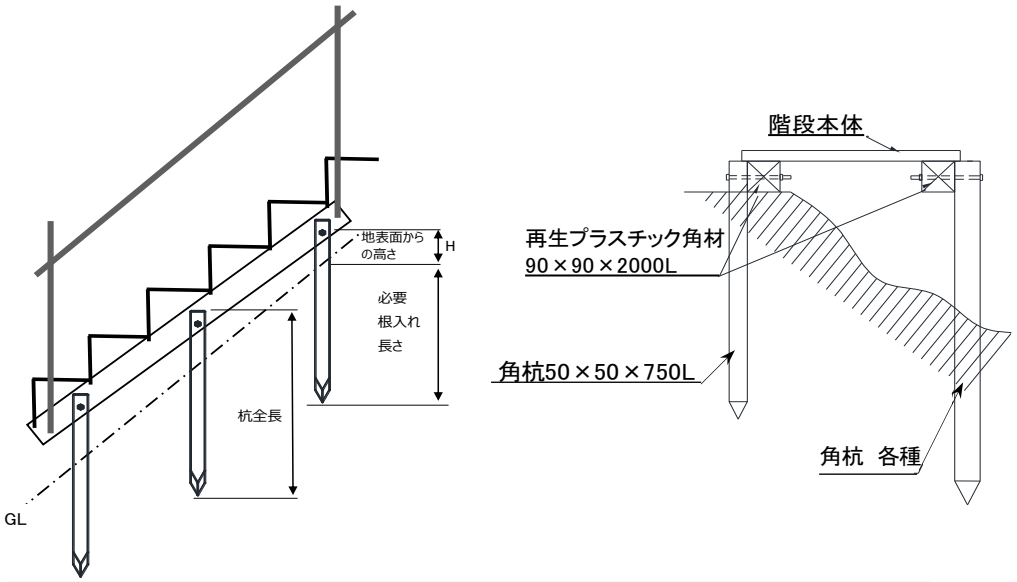
※3：凹凸あり、左右高低差ありは「杭長さの目安表」参照（次ページP6）

大まかな選定フローとなっております。条件によって変わることがございますので、ご相談ください。

リバーザー・ステップ　杭長さの目安表

設置面に凸凹あり、左右高低差ありの場合、杭の長さは下記を参照ください。

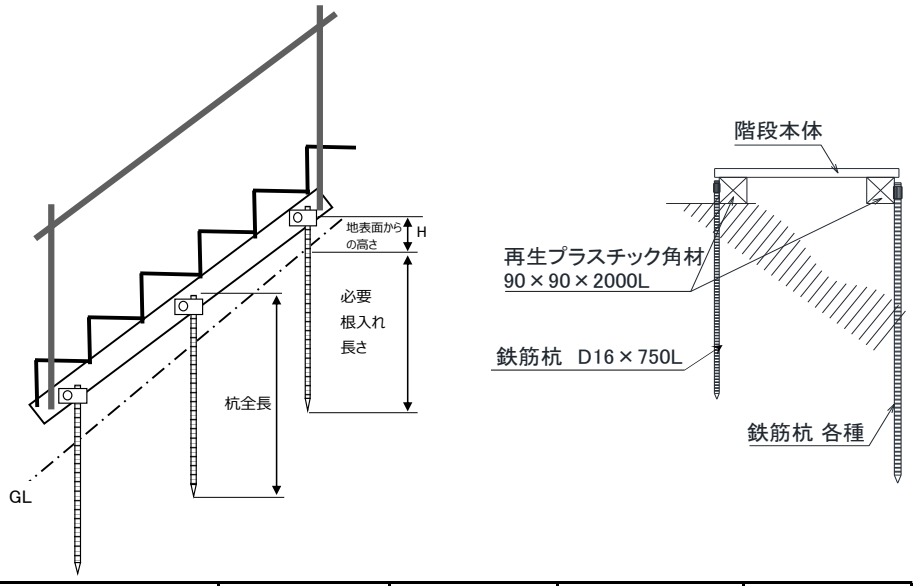
「使用する角杭長さの目安表」



地表からの高さH(m)	H＝0～0.15	H＝0.15～0.3	H＝0.3～0.5	H＝0.5～0.8
角杭の種類×全長	50×50×750	70×70×1000	70×70×1200	70×70×1500
必要根入れ深さ（m）	0.55	0.65	0.65	0.65
角材2m当たり両側に使用する杭本数（必要本数）	6	6	8	8

※Hが0.8mを超える場合は、別途ご相談ください。

「使用する鉄筋杭長さの目安表」



地表からの高さH(m)	H＝0～0.15	H＝0.15～0.3	H＝0.3～0.5	H＝0.5～0.8
鉄筋･鋼管の種類×全長	D16×750	D22×1000	D22×1200	D29×1500
必要根入れ深さ（m）	0.55	0.65	0.65	0.65
角材2m当たり両側に使用する杭本数（必要本数）	6	6	8	8

※Hが0.8mを超える場合は、別途ご相談ください。

※積雪地への設置の場合は、別途ご相談ください。

リバーザー・ステップ　手摺　参考施工歩掛

現地状況、設置延長距離により大幅に変動します　令和８年度国土交通省新技術積算基準類の整備により改定

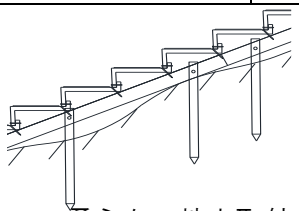
（令和８年４月１日より適用）

① 日当たり標準編成人員表（人/日）

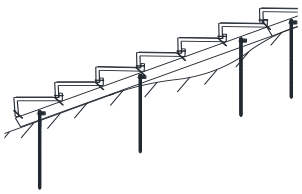
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
1	2	2

② 日当たり標準施工量表（階段設置：延長 m/日）

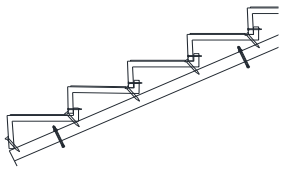
設置面（固定方法）	階段幅（mm）				備　考
	450/500/600	750/1000	1200/1500	2000	
柔らかい地山（角材+ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ角杭）	7.0	5.5	5.0	4.0	運搬距離15m程度の現場内小運搬を含む
硬い地山（角材+鉄筋杭）	6.5	5.0	4.5	3.5	
コンクリート面（角材+ﾎｰﾙｲﾝｱﾝｶｰ）	11.0	8.5	7.5	6.0	
岩部（角材+ｾﾒﾝﾄｱﾝｶｰ等）	5.0	4.0	3.5	3.0	



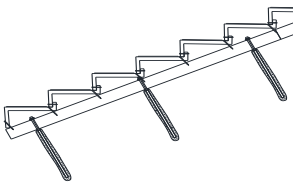
柔らかい地山取付



硬い地山取付



コンクリート面取付



岩部取付

③ 日当たり標準施工量表　（手摺設置：片側延長 m/日）

手摺の種類	日当り施工量	備　　考
1～3段ビーム	10.0	運搬距離15m程度の現場内小運搬を含む
4段ビーム	8.0	

④ 諸雑費率表

項　目	値	備　　考
諸雑費率（%）	10	諸雑費は、ビット、削孔器具損料および電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に諸雑費率表を乗じた金額を上限として計上する。ただし、柔らかい地山、硬い地山、手摺設置には適用しない。

⑤ 階段設置及び手摺設置 10m 当たり単価表

名　　称	単　位	数　　量	適　　要
土木一般世話役	人	10/日当り施工量×1	表①、②、③
特 殊 作 業 員	人	10/日当り施工量×2	表①、②、③
普 通 作 業 員	人	10/日当り施工量×2	表①、②、③
諸　　雑　　費	式	1	表④
計			

リバーザー・ステップと手摺の施工に使用する工具

リバーザー・ステップ　取付工具

◎ インパクトドライバー(階段本体を取り付けるコーススレッド締め付けのために使用)

・六角軸ソケット　17mm（M10 ボルト用　ボルトナット締め付け用）

◎ 電気ドリル(角材に穴を開けるために使用)　施工タイプにより有効長は使い分け

・鉄工用ドリル　　Φ12×150L(有効長)
・鉄工用ドリル　　Φ12×180L(有効長)
・鉄工用ロングドリル　　Φ12×220L(有効長) 220L のロングドリルはあれば便利です。
*木工用ドリルでも可ですが、鉄工用が最適です。

◎ 電動丸ノコ（刃は木工用チップソー）　◎発電機（電気ドリル用・丸ノコ用）

◎ 延長コード　◎かけや

◎ 手ハンマー（石頭ハンマー）　◎サンダー

◎ メガネレンチ　◎水平器（なるべく長い物(1m)）

◎ スラント　◎さしがね

◎ レベルとスタッフ　◎コンベックス

◎ 水糸　◎木杭

◎ 水貫　◎印付け用マジックペン

手摺　取付工具

◎発電機　◎延長コード　◎電気ドリル

◎水準器　◎スパナ　◎モンキースパナ

◎押切高速カッター または サンダー（手摺パイプ切断用）　◎メガネレンチ

◎印付け用マジック(白)　◎座ぐりドリル(φ26 ㎜)

◎インパクトドライバー

・六角軸ソケット

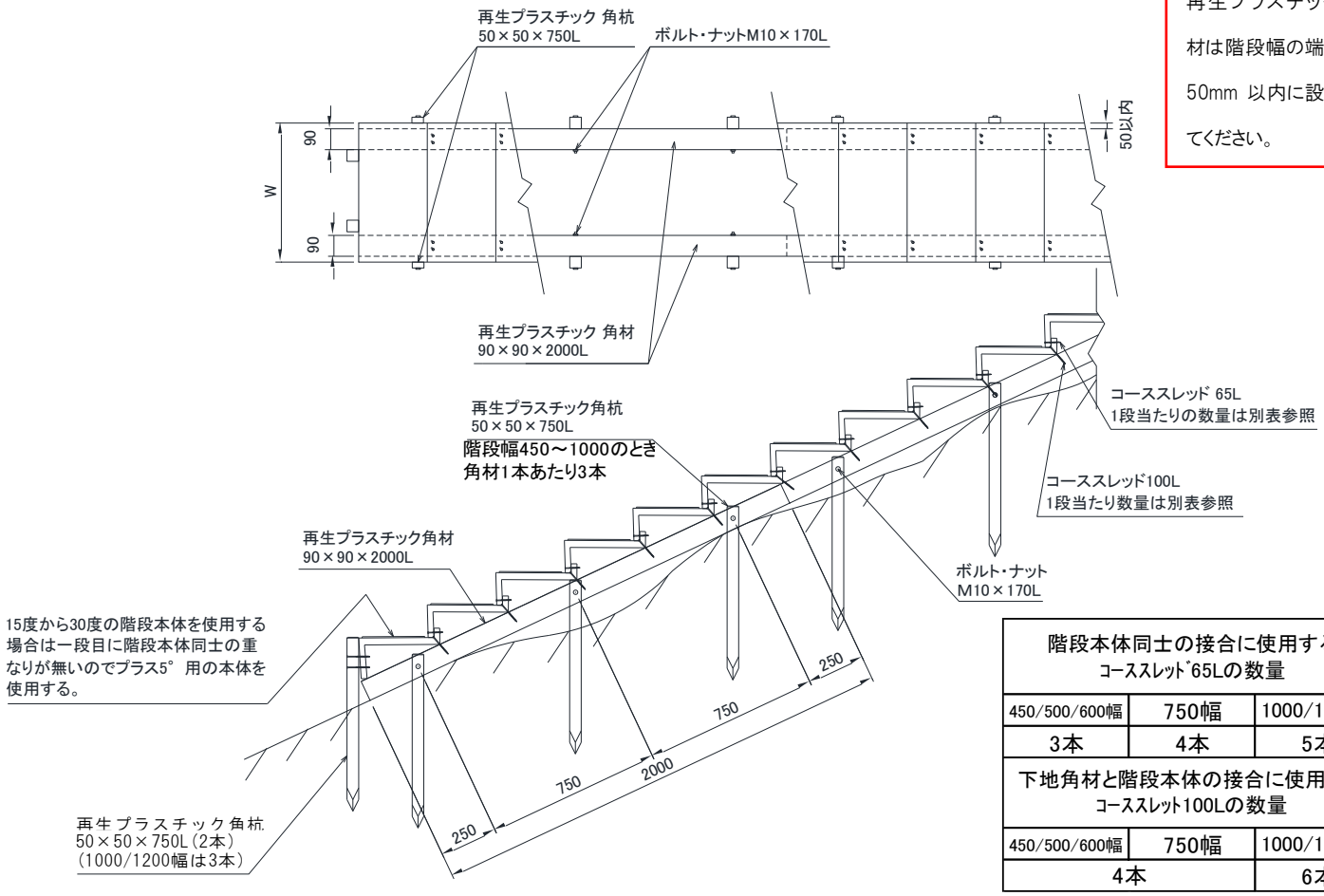
◎電気ドリル

・鉄工用ドリル または ステップドリル（タケノコ）

柔らかい地山取付

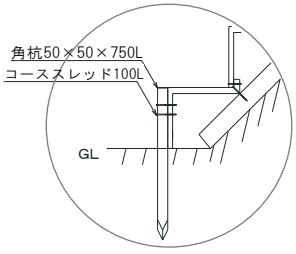
地山等、取付面が柔らかく凹凸がある地面への取付。
のり面に 90mm の角材を 50mm 角のプラスチック杭で固定、レール状に敷設します。
階段本体をコーススレッドで角材に取り付けていく施工タイプです。

＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から 50mm 以内に設置してください。



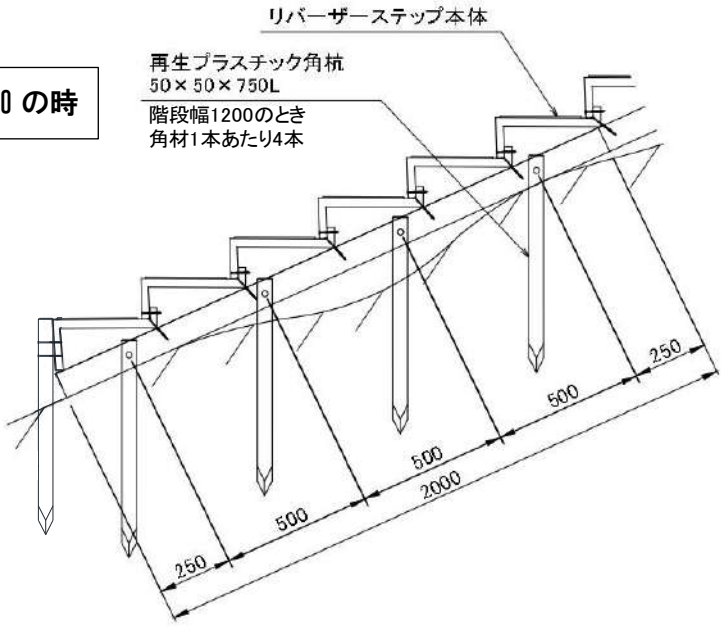
階段本体同士の接合に使用する コーススレッド65Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
3本	4本	5本

下地角材と階段本体の接合に使用する コーススレッド100Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
4本		6本



HS-1:1.5 以上,（H=200 以上）の階段本体を使用する場合、1 段目をずらして調整

階段幅 1200 の時

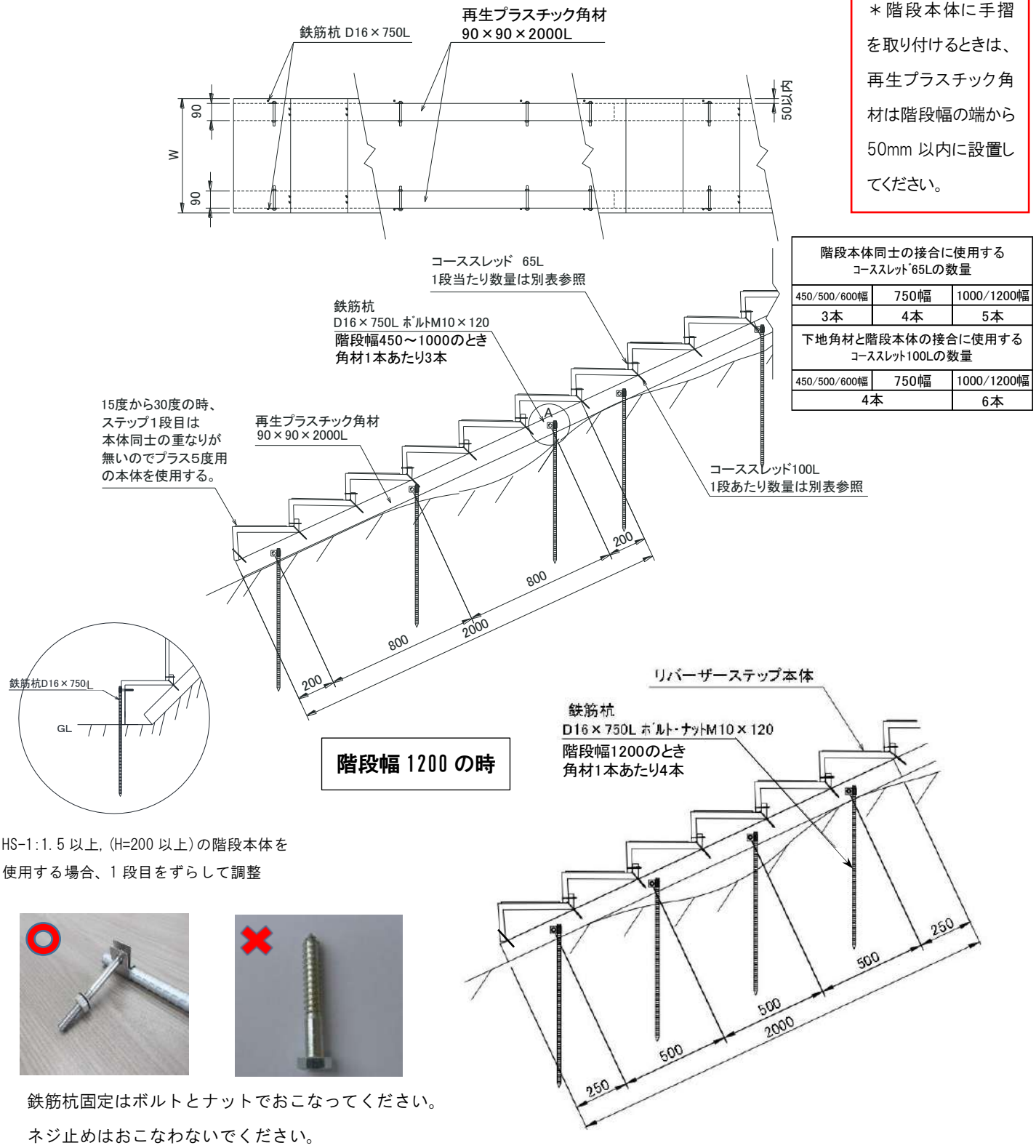


硬い地山取付

地山等、取付面に凹凸があり、石などが混じって硬い地面への取付。プラスチック杭が打ち込みできない地面。シールコンクリート面、コンクリートブロック面、吹付けコンクリート面でコンクリートに厚みがなく、凸凹がある場合など。

90㎜の角材に鉄筋杭を使用してのり面に固定、レール状に敷設します。階段本体をコーススレッドで角材に取り付けていく施工タイプです。

＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から50mm 以内に設置してください。



階段本体同士の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄﾞ65Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
3本	4本	5本
下地角材と階段本体の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄ100Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
4本		6本

HS-1:1.5 以上,(H=200 以上)の階段本体を使用する場合、1 段目をずらして調整

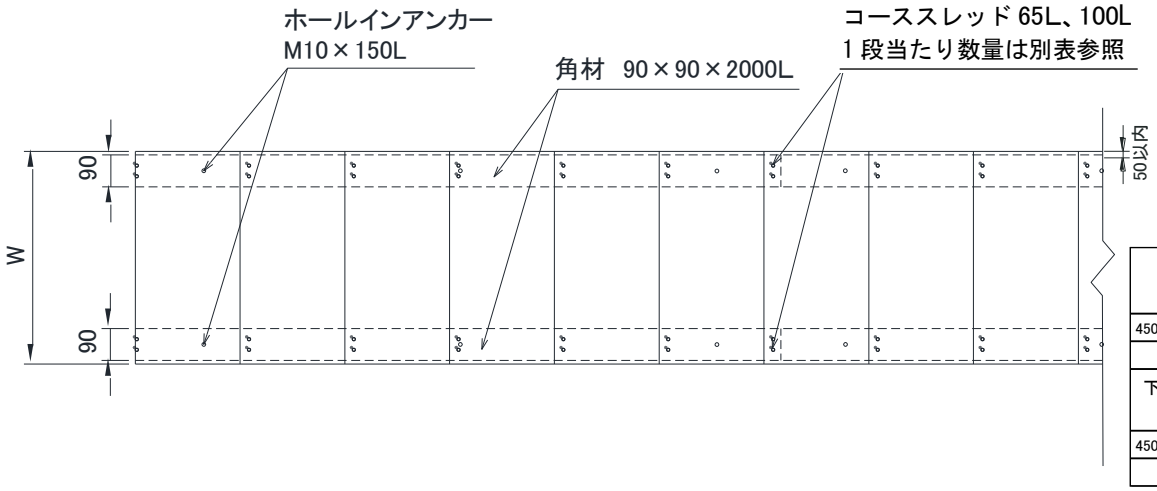
鉄筋杭固定はボルトとナットでおこなってください。

ネジ止めはおこなわないでください。

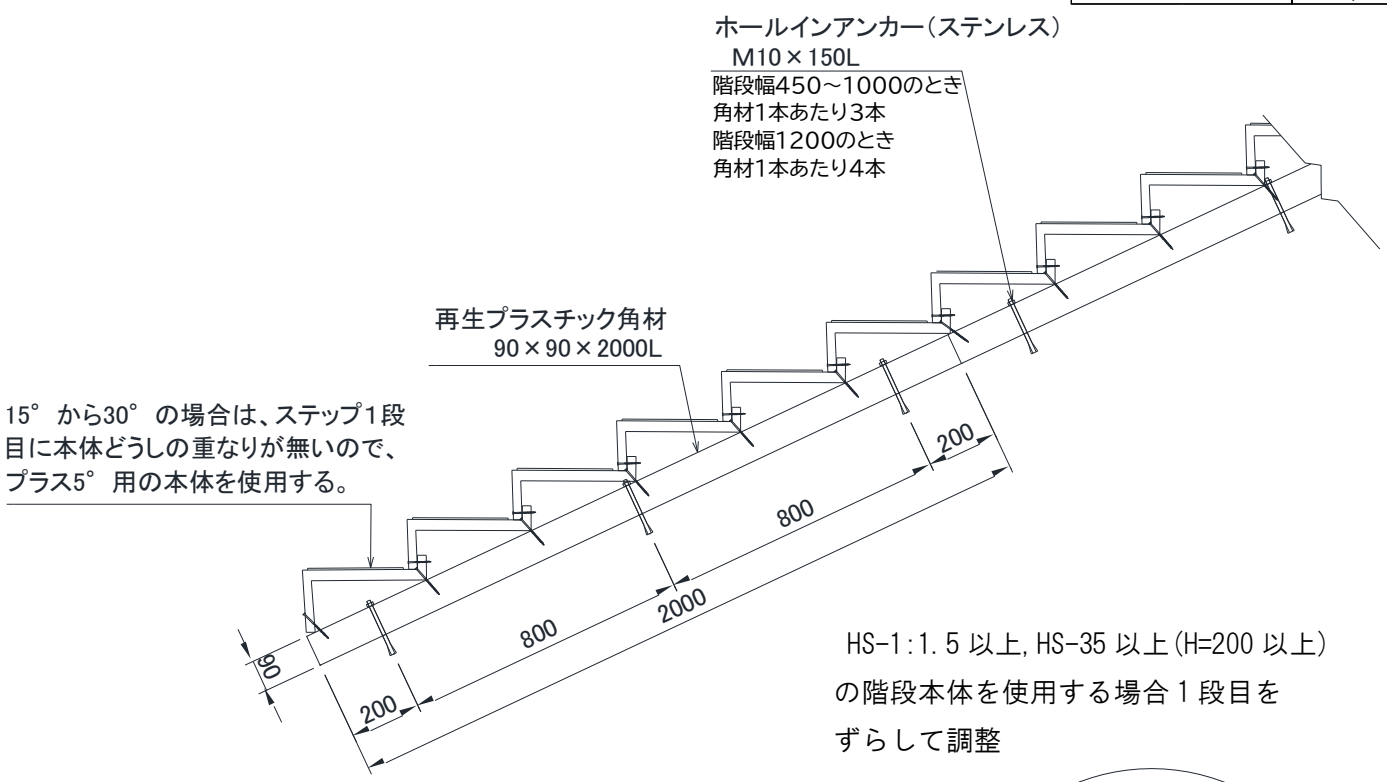
コンクリート面取付

厚さ 100 ㎜以上の平滑なコンクリート斜面に角材をホールインアンカーで固定、レール状に敷設し、階段を角材に取り付けていきます。
階段本体をコーススレッドで角材に取り付けていく施工タイプです。

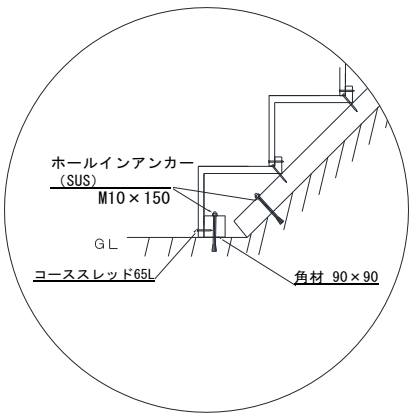
＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から 50mm 以内に設置してください。



階段本体同士の接合に使用する コーススレッド65Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
3本	4本	5本
下地角材と階段本体の接合に使用する コーススレッド100Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
4本		6本

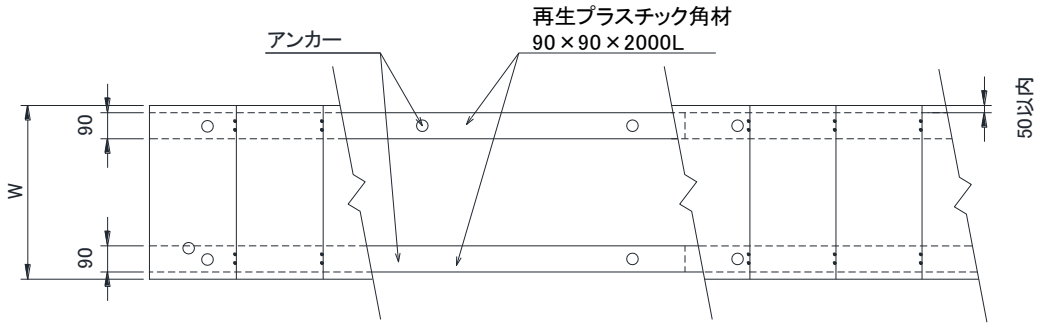


HS-1:1.5 以上, HS-35 以上 (H=200 以上) の階段本体を使用する場合 1 段目をずらして調整

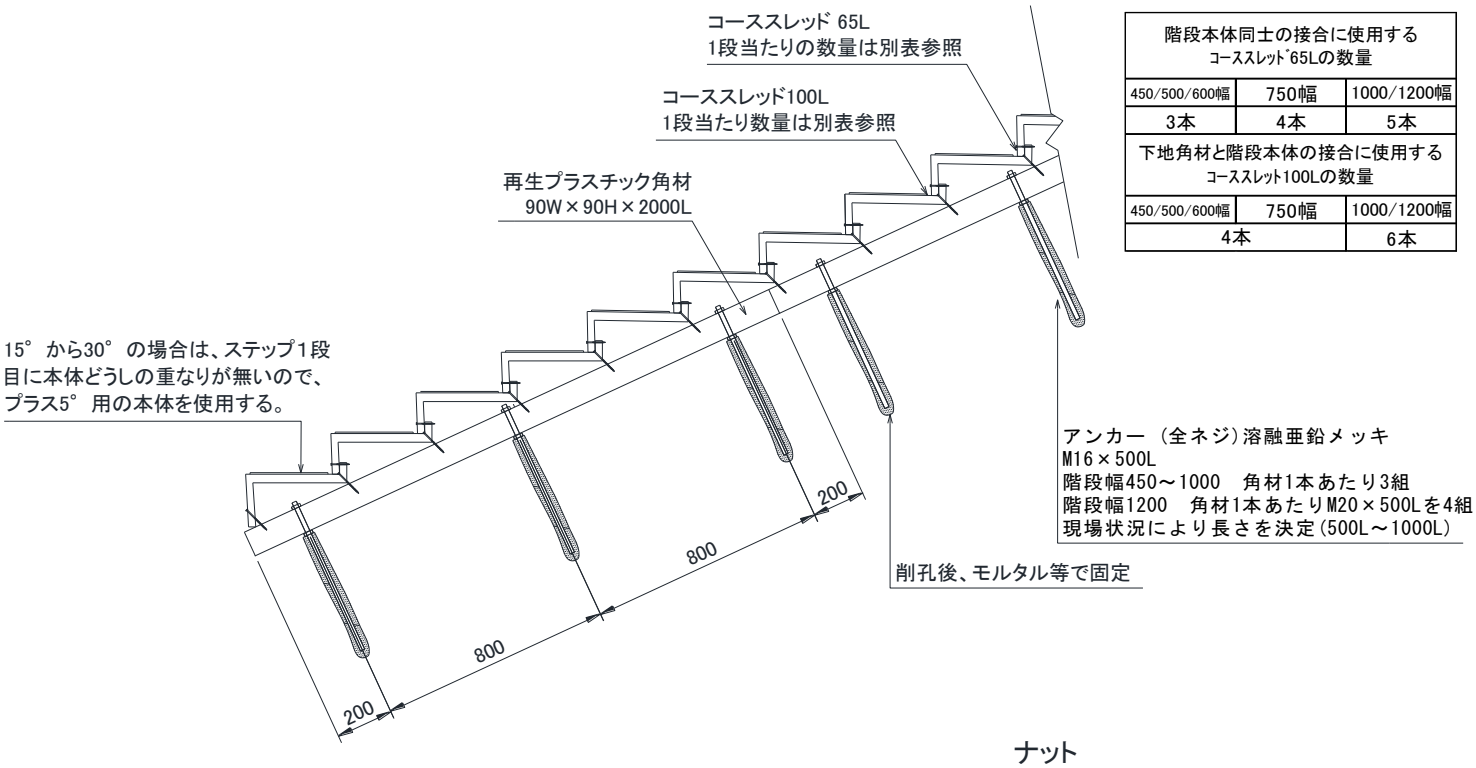


岩部取付

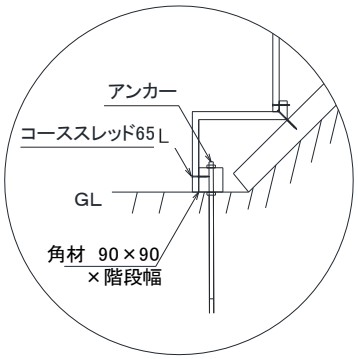
岩部などの下地地盤にアンカーを固定して角材を敷設、階段本体を角材に取り付けていきます。

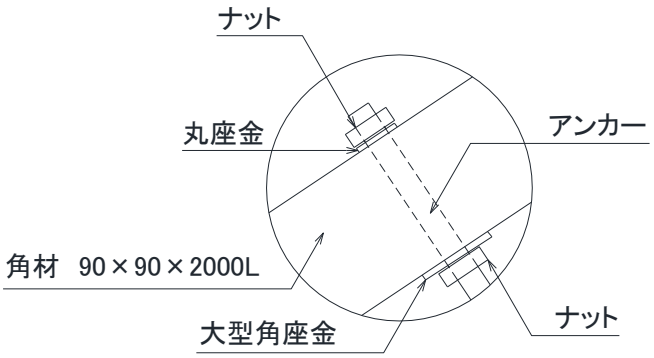


＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から50mm 以内に設置してください。



階段本体同士の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄﾞ65Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
3本	4本	5本
下地角材と階段本体の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄ100Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
4本		6本

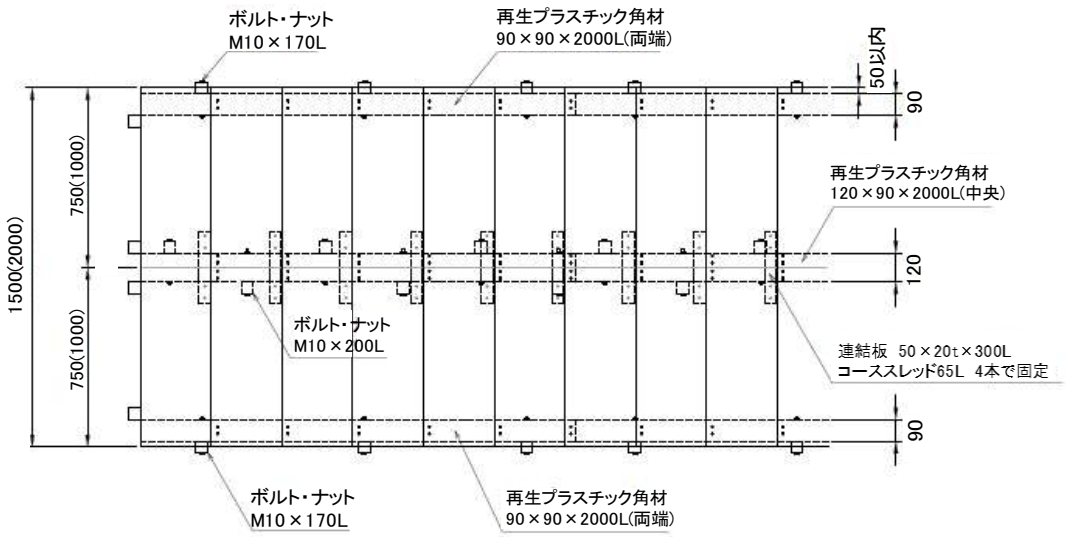




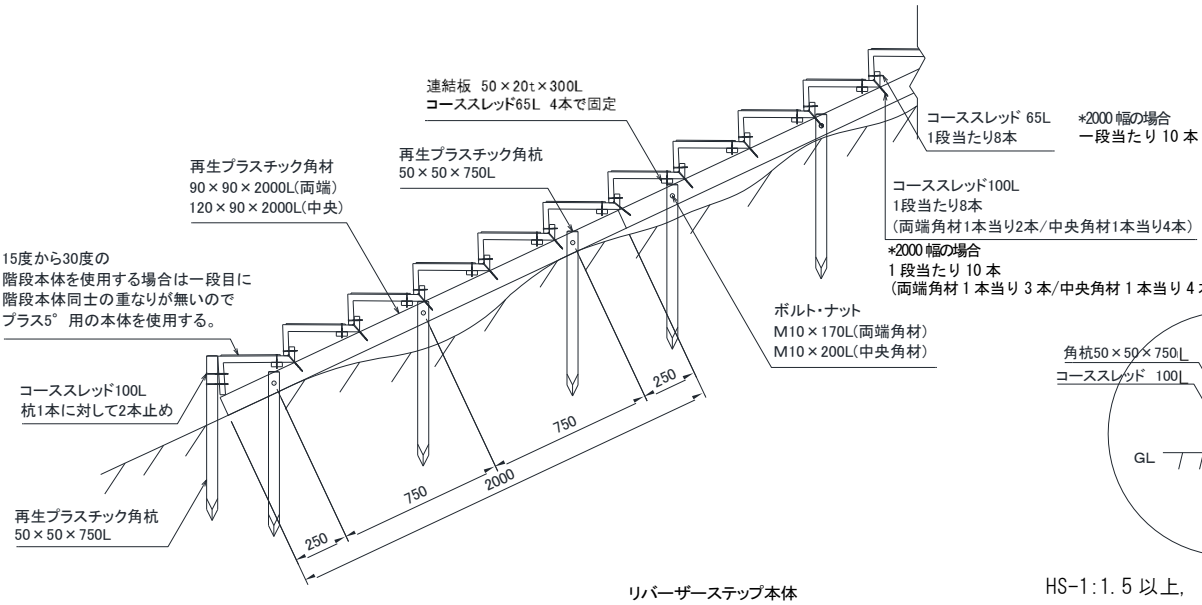
HS-1:1.5 以上,（H=200 以上）の階段本体を使用する場合 1 段目をずらして調整

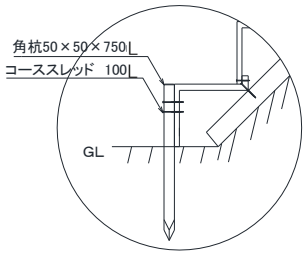
横幅連結　1500 幅・2000 幅　柔らかい地山取付

階段本体を横に並べて連結し、階段幅を 1500mm（750 mm+750 mm）・2000 mm（1000 mm+1000 mm）にします。
設置後地盤の変動などにより、左右のステップに段差や隙間ができるのを防ぐため、
連結板で左右の階段本体を連結します。



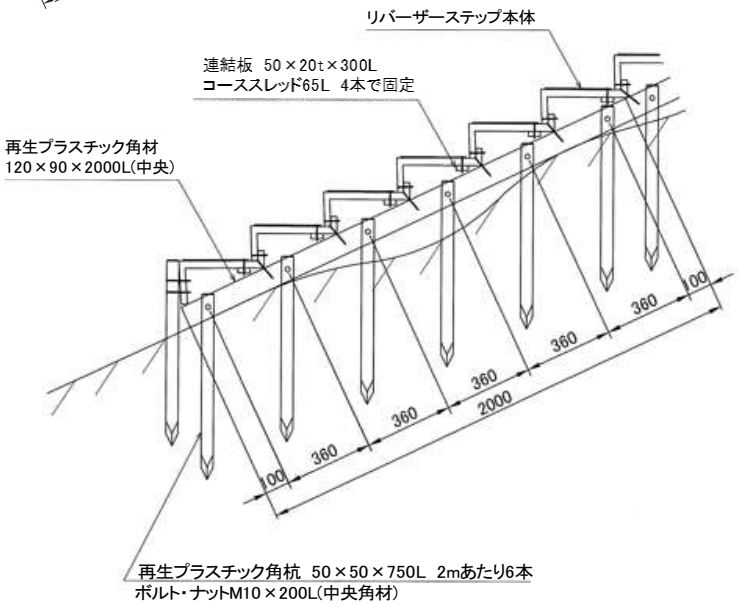
＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から 50mm 以内に設置してください。





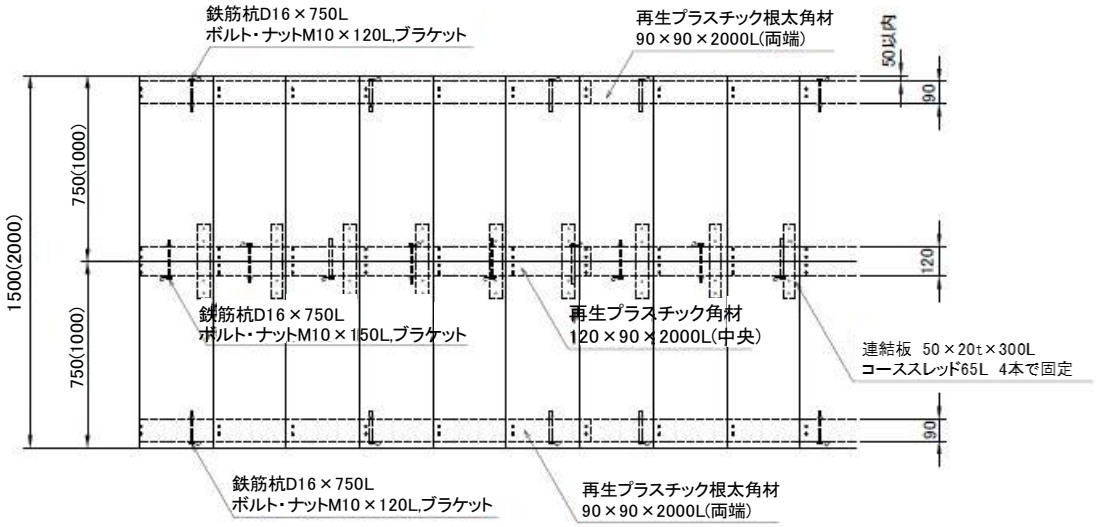
HS-1:1.5 以上，（H=200 以上）の階段本体を使用する場合、1 段目をずらして調整

中央連結部

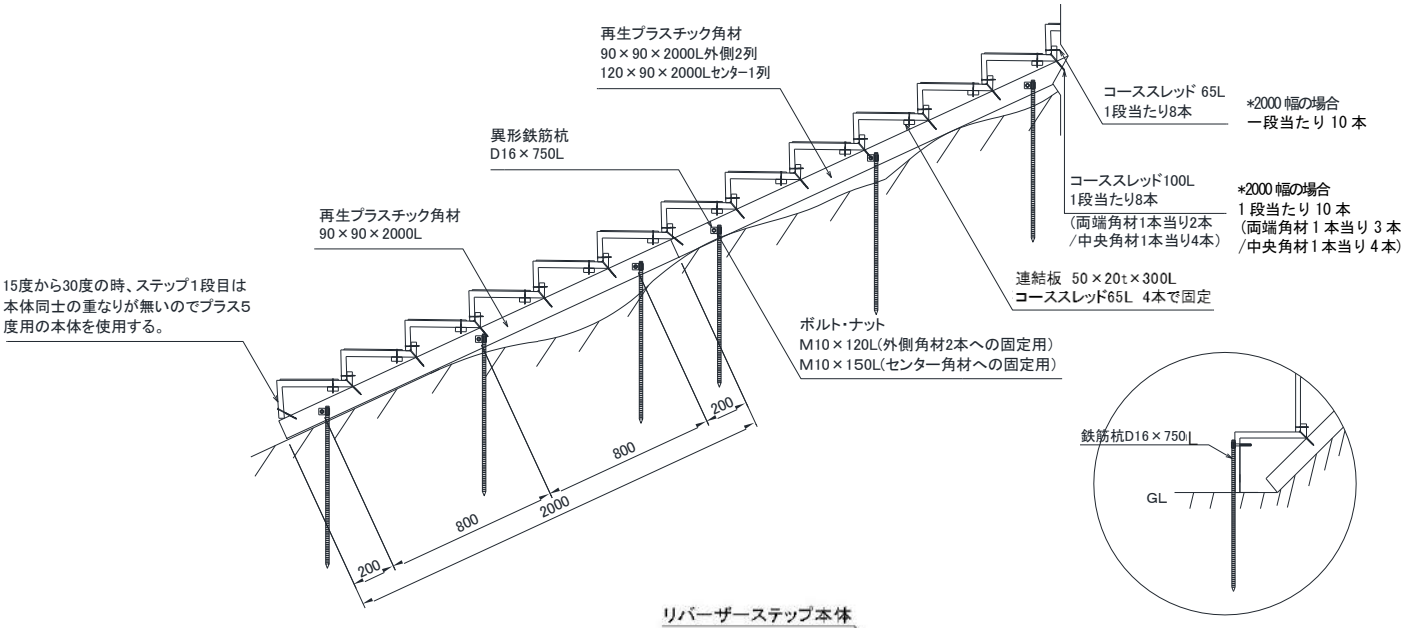


横幅連結 1500 幅・2000 幅　硬い地山取付

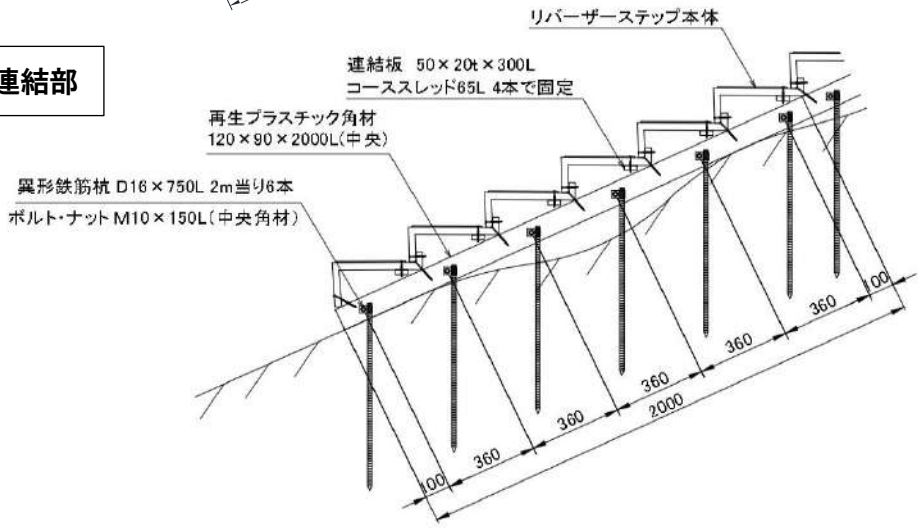
階段本体を横に並べて連結し、階段幅を 1500mm（750 mm+750 mm）・2000 mm（1000 mm+1000 mm）にします。
設置後地盤の変動などにより、左右のステップに段差や隙間ができるのを防ぐため、
連結板で左右の階段本体を連結します。



＊階段本体に手摺を取り付けるときは、再生プラスチック角材は階段幅の端から 50mm 以内に設置してください。

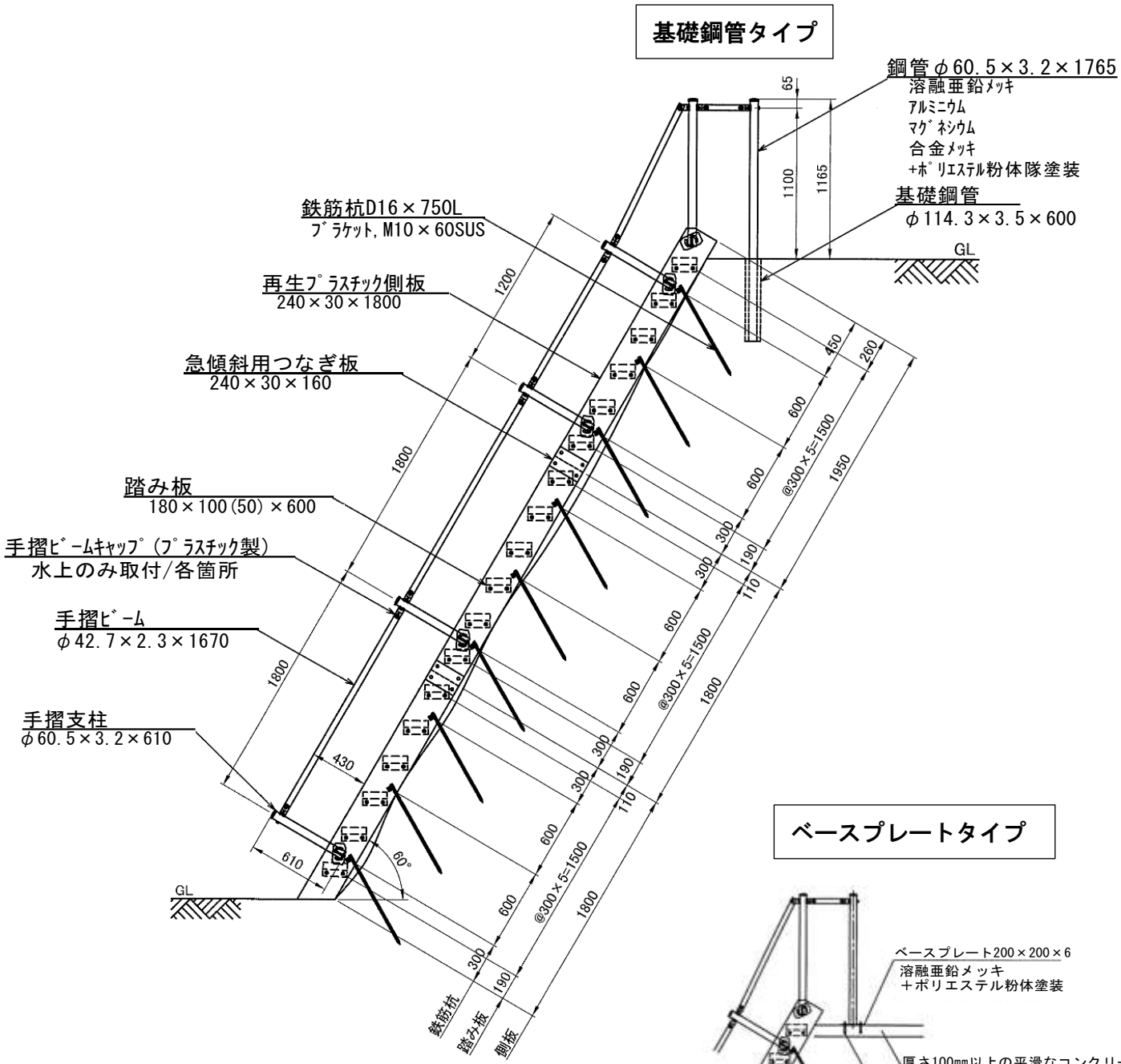


中央連結部

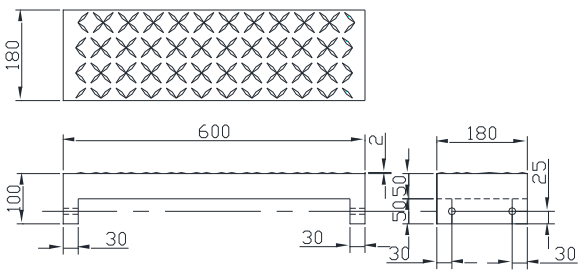


HS-1:1.5 以上，（H=200 以上）の階段本体を使用する場合、1 段目をずらして調整

急傾斜階段（梯子型）52 度～75 度まで



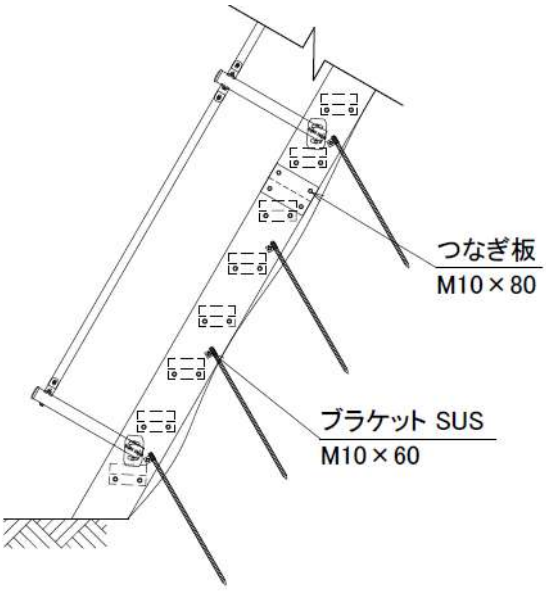
階段踏み板 180×100×600



急傾斜階段（梯子型）硬い地山取付の施工

最下段から設置

- 鉄筋杭で組み立て済みの梯子型階段をのり面に固定。鉄筋杭は1スパン(1.8m)に対し、片側3本使用。

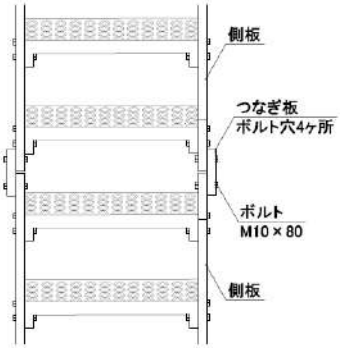


鉄筋杭の固定

- 梯子型階段の側板外側ののり面に、鉄筋杭を打ち込み、鉄筋杭頭部にブラケットを取り付ける。
- 側板に電動ドリルでボルト穴を開け、側板と鉄筋杭を固定する。

2スパン目以降の接合

- 最下段が設置できたら、つなぎ板とボルト(M10×80)で次の組み立て済み梯子型階段を上部に連結する。



手摺の取り付け

- 側板に支持金物を取り付ける。
- 支持金物に支柱を取り付ける。
- ビームを取り付ける。

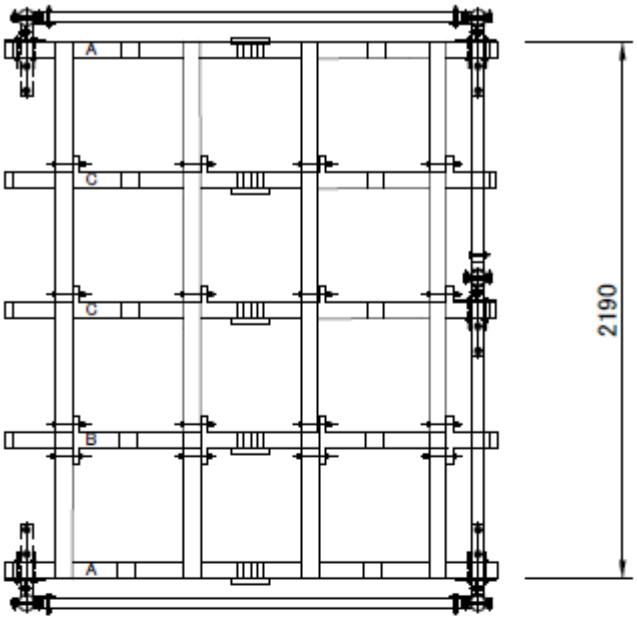
＊再生プラスチック材の加工＊

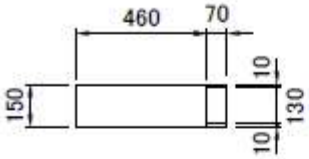
・穴あけは電動ドリルで鉄工用の刃を使用、カットは電動丸ノコで刃はチップソーを使用してください。

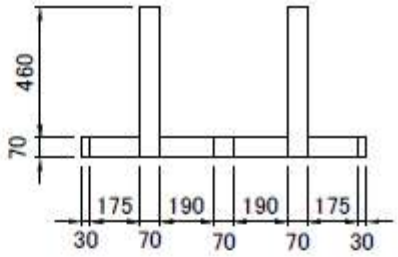
＊鉄筋杭の長さについて＊

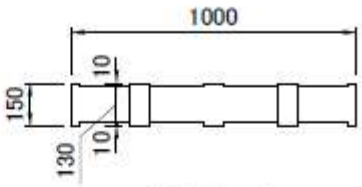
鉄筋杭は長さ 750mm が標準ですが、地盤の凹凸が大きいなどの現場では鉄筋杭を標準より長くする必要がある場合もあります。

踊り場・通路　根太材Ａ・Ｂ・Ｃ　※地表面から浮く場合

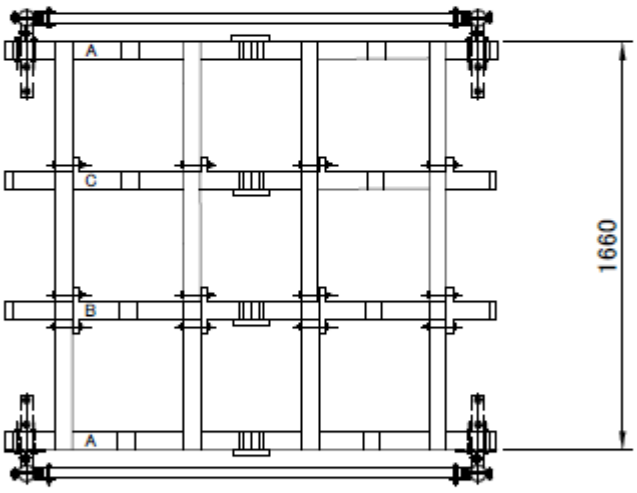


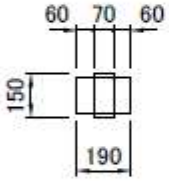


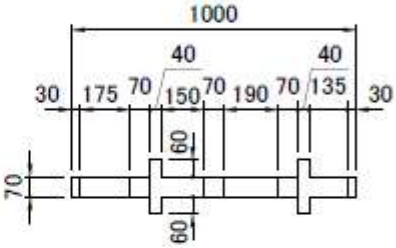


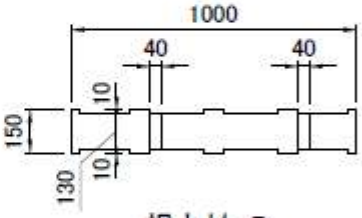


根太材　A

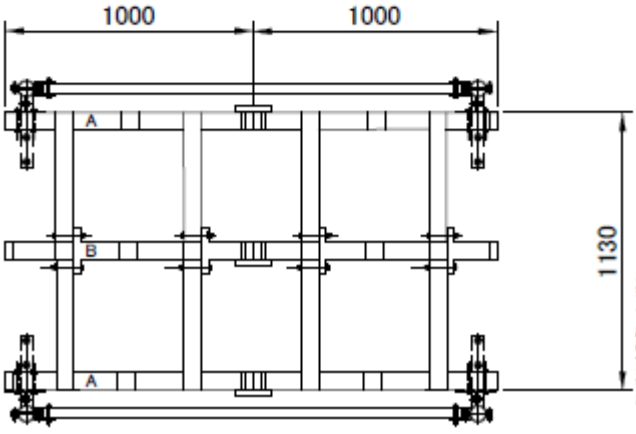


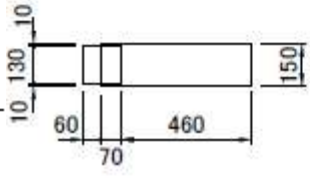


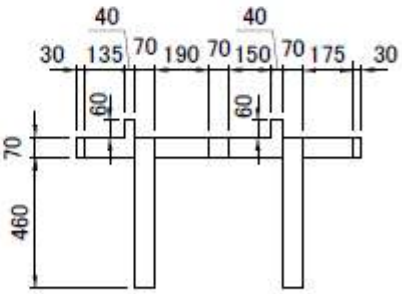


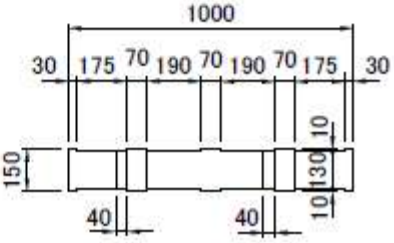


根太材　B



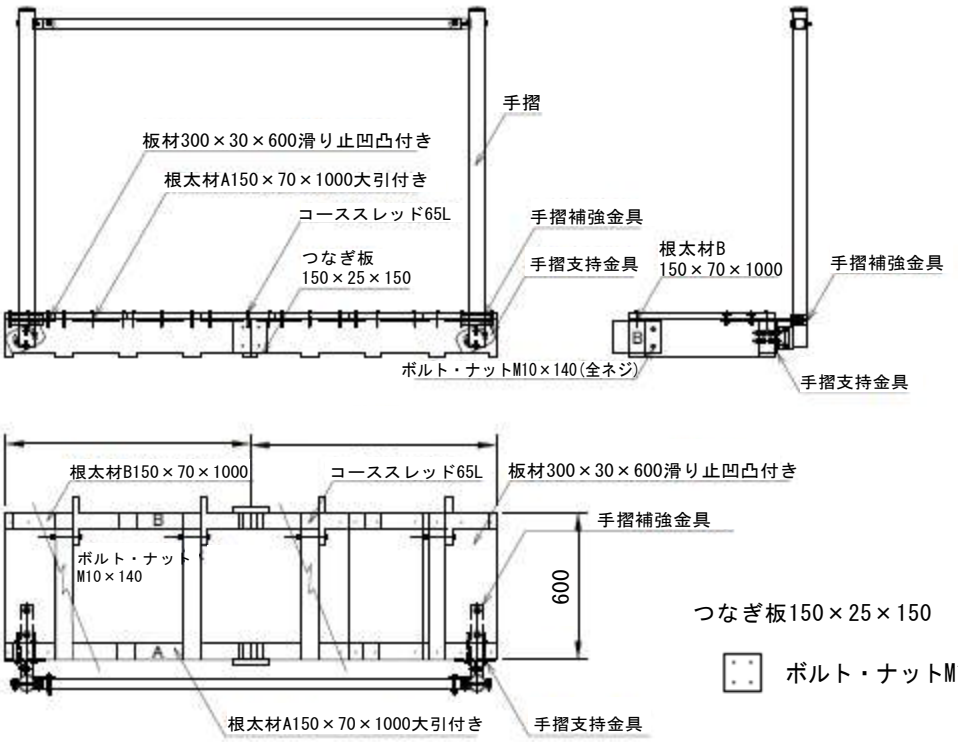






根太材　C

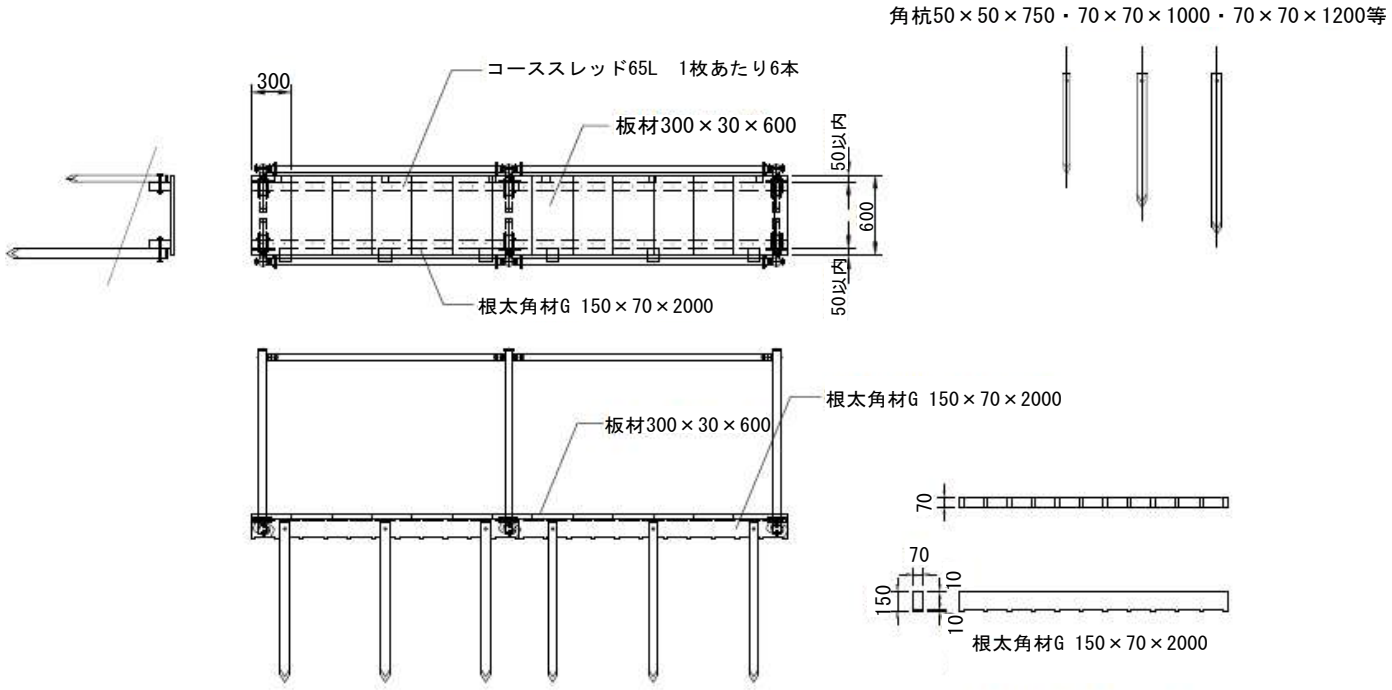
通路　根太材Ａ・Ｂ　幅 600　※地表面から浮く場合



つなぎ板150×25×150

ボルト・ナットM10×140(全ネジ) 4本止め

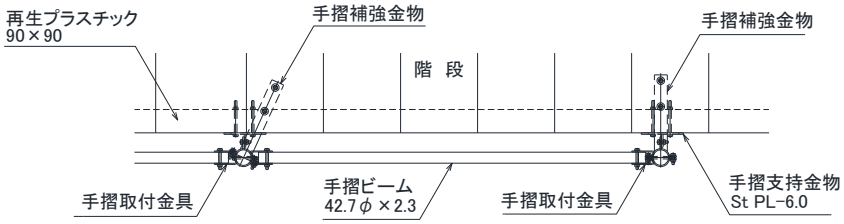
踊り場・通路　根太材Ｇ

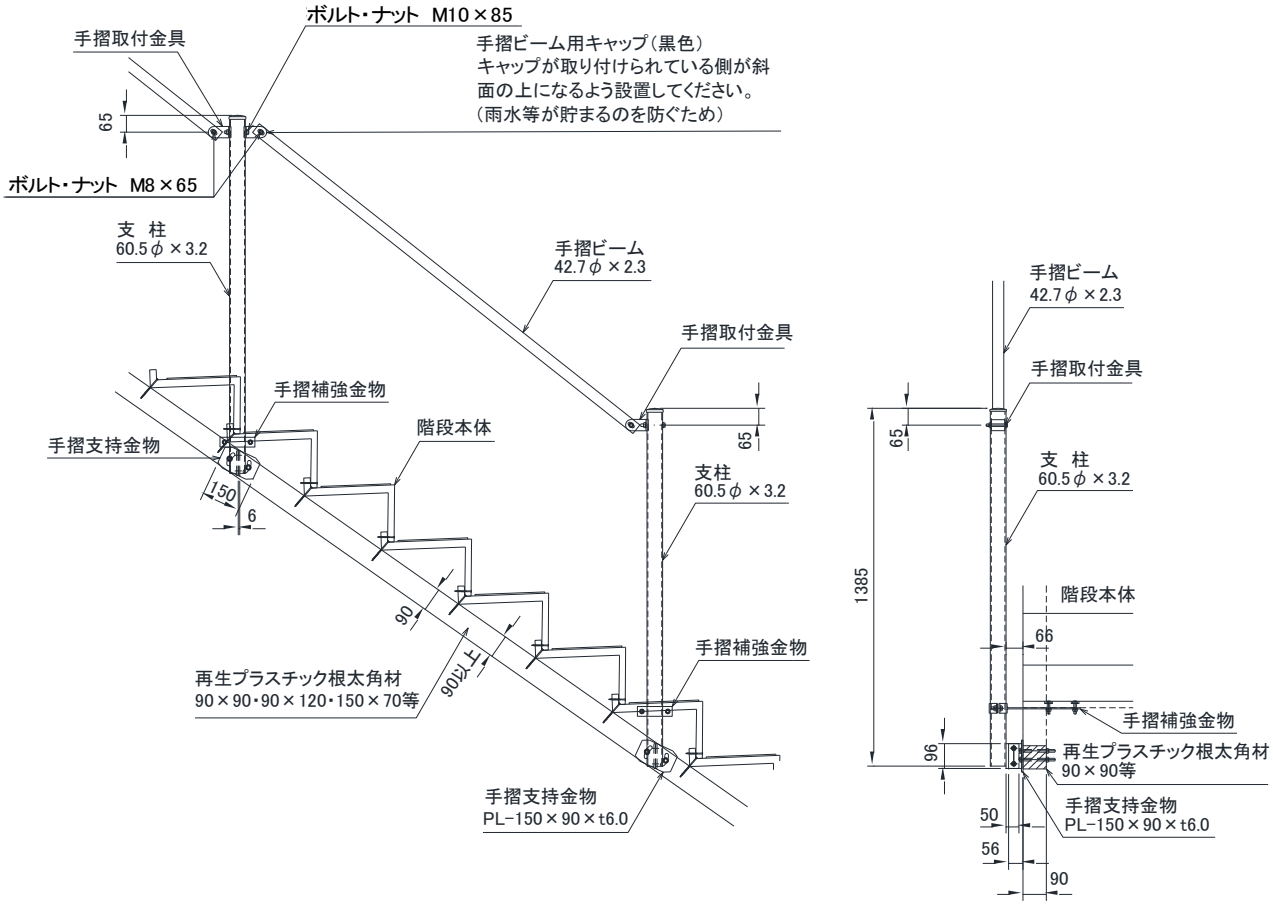


※600幅の場合、2列配置で根太材使用本数は2本
※1000幅の場合、3列配置で根太材使用本数は3本
※1500幅の場合、4列配置で根太材使用本数は4本
※2000幅の場合、5列配置で根太材使用本数は5本

リバーザー・ステップ本体取付手摺

リバーザーステップ本体に取付可能な手摺です。下地角材が90角の場合に取り付けることができます。
積雪には対応していませんので、ご注意ください。
手摺ビーム　2段、3段、4段タイプもあります。
ご注文にあたっては、斜面の下から見上げた場合に左右どちらに取り付けるかご指示をお願いします。
（手摺支持金物に左右の区別があります。）



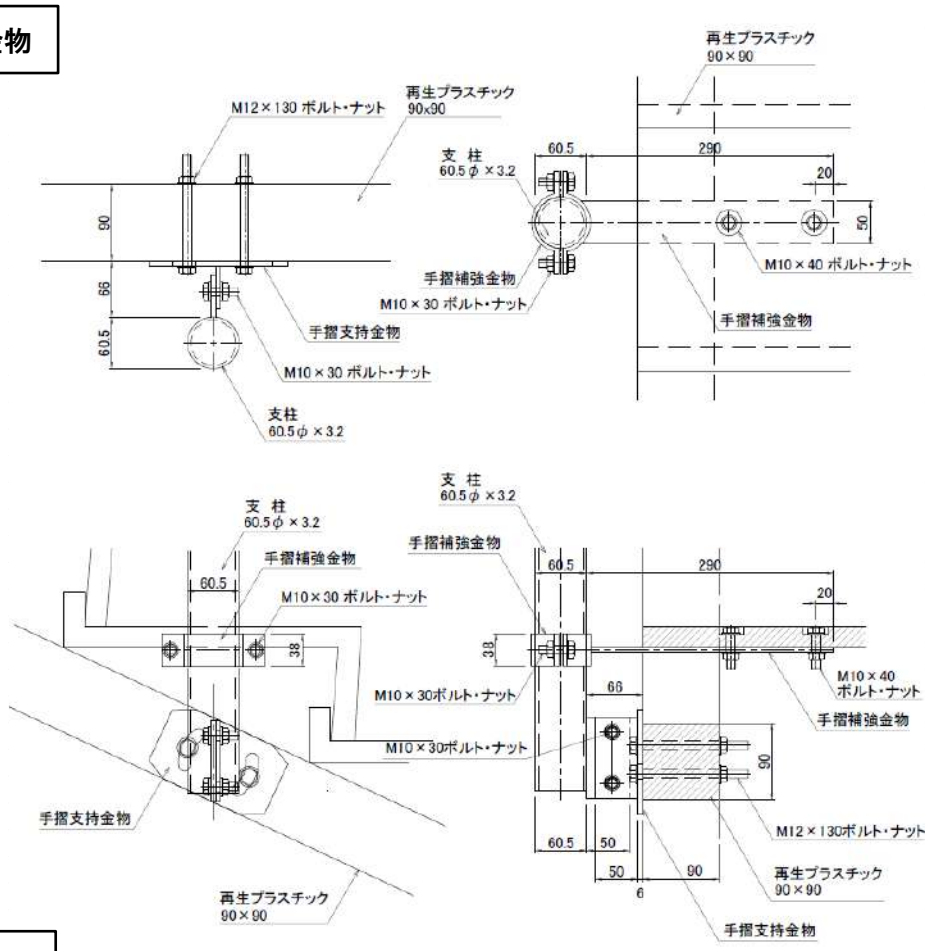


手摺は耐雪仕様ではありません

色　：マンセル値 10YR2/1（ダークブラウン）
材質：STK-400、ZAM メッキ鋼管（支柱・ビーム）
　　ZAM メッキ（溶融亜鉛・アルミニウム・マグネシウム合金メッキ）＋ポリエステル粉体塗装

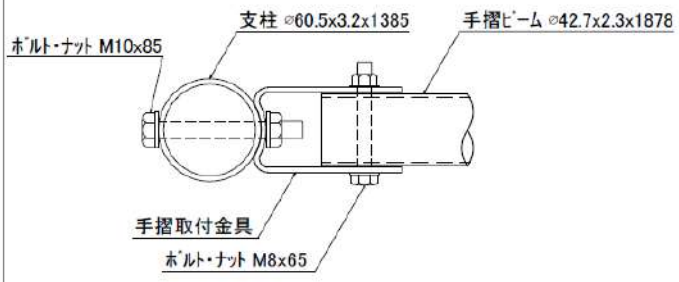
リバーザー・ステップ本体取付手摺　詳細図

支持金物・補強金物

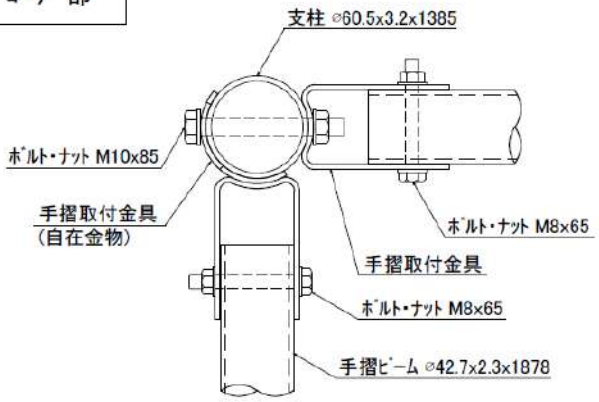


取付金具・ｺｰﾅｰ金具

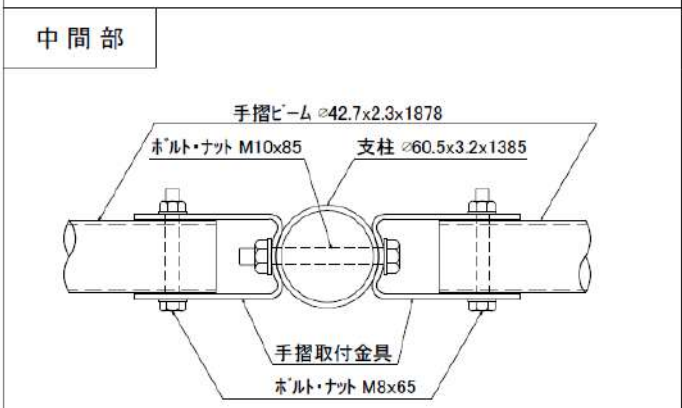
端　部



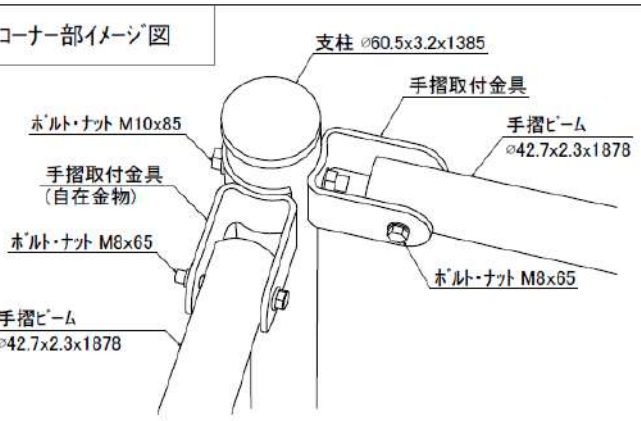
ｺｰﾅｰ部



中 間 部



ｺｰﾅｰ部ｲﾒｰｼﾞ図



硬い地山取付の施工

設置レベルとルートの設定

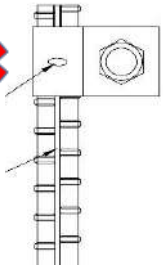
- 設置面に水糸を張り設置ルートとレベルを設定。
- 階段本体の両端から0～50mm程度内側になるよう角材を2列進行方向に並べる。

設置面に鉄筋杭を固定

- 下地角材90角が2本平行に敷設できるよう、左右のレベルを確認しながら鉄筋杭を設置面に固定。（鉄筋杭の間隔は800mm以内）
- 鉄筋杭の位置に合わせて角材に穴を開ける。（電動ドリルに鉄工用刃）

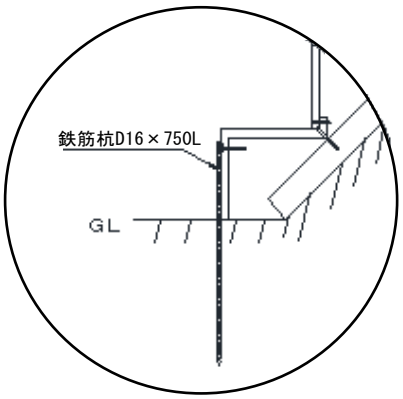
この向きに取り付けないでください。

ブラケットの凹み部と鉄筋杭の溝が切られていないラインが重なるとしっかりしめつけられません。



鉄筋杭と下地角材を固定

- ブラケットのノッチ(凹み)と鉄筋杭の溝の位置に注意しながら鉄筋杭を角材に留め付ける。



ステップ本体1段目

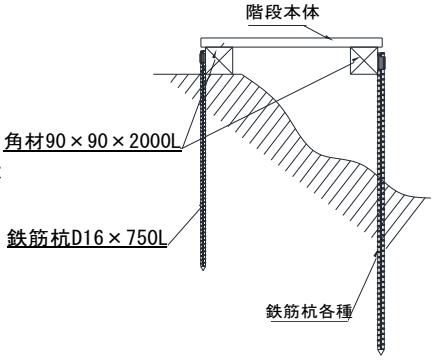
- のり面の下方から階段本体を取り付ける。
- 30度までの階段本体を使用する場合は1段目はプラス5度用（H寸法の長いもの）を使用。
- HS-1:1.5以上の階段本体(H=200以上)を使用する場合は1段目を斜面下方向にずらして調整。

ステップ本体2段め以降

- 階段本体同士の固定はコーススレッド65mmを使用。
- 下地角材と階段本体の固定にはコーススレッド100mmを使用。

階段本体同士の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄﾞ65Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
3本	4本	5本
下地角材と階段本体の接合に使用するｺｰｽｽﾚｯﾄ100Lの数量		
450/500/600幅	750幅	1000/1200幅
4本		6本

のり面を斜行する等で、左右方向にも高低差が出る場合、谷側の鉄筋杭の本数や長さを変える必要があります。



リバーザー・ステップ本体取付手摺の施工

支柱取り付け位置を決める

- 階段の施工完了後、または階段用下地角材設置後に手摺の取り付けを始める。
- 敷設済み90㎜の角材に取り付け位置の印をつける。（手摺支柱の間隔はSL=2000　角度により若干異なります）
- 角材の印に支持金物をあて、中央の平板が垂直になるようにしたままボルト位置を出す。

支持金物を角材に取付

- 角材にΦ14のボルト穴を開け、M12×130のボルトで角材に支持金物を固定する。
- 支持金物の平板が垂直になっているか水準器で確認する。ボルトを締め付ける。

支柱の取付

- 支柱に手摺取付金具をM10×85で軽く取り付ける。端末支柱には1個、中間支柱には2個。
- 取り付け済み支持金物の平板に支柱の平板をM10×30のボルトで取り付ける。
- 支柱が垂直になっていることを確認。

ビームの取付

- 取付金具にM8×65のボルトでビームを取り付ける。
- 支柱が垂直になっていることを確認する。

↑ 座ぐり穴　　↑ ボルト取付後

手摺補強金物の取付

- 階段本体に座ぐり穴(深さ10㎜, 経26㎜)を開け、手摺補強金物をM10×40のボルトで固定する。

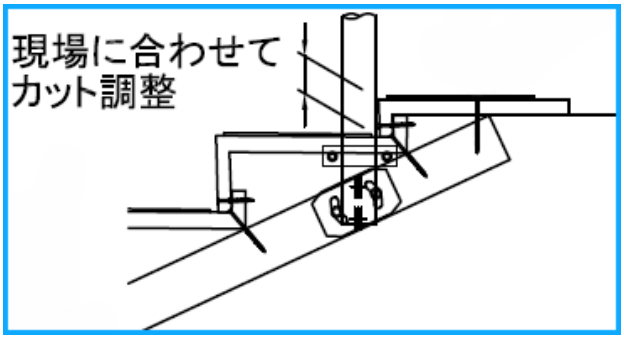
支柱を固定

- 補強金物で支柱を固定する。M10×30を使用。
- 支柱が垂直になっていることを確認。
- すべてのボルトナットの締め付けを行う。

取り扱いについて

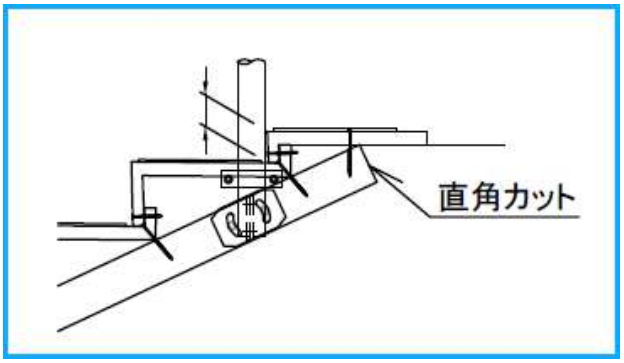
◎リバーザー・ステップの最上段の施工について

1．リバーザー・ステップは、角材の上に下段から重ねて施工します。地盤の高低差は規格寸法ではどうしても、割り切れません。その為、製品の性質上、最上段に端数が生じてしまいます。1 段分の蹴上高さは現場の状況に応じカット（図１）して、踏み面と地盤面のレベルを合わせてください。

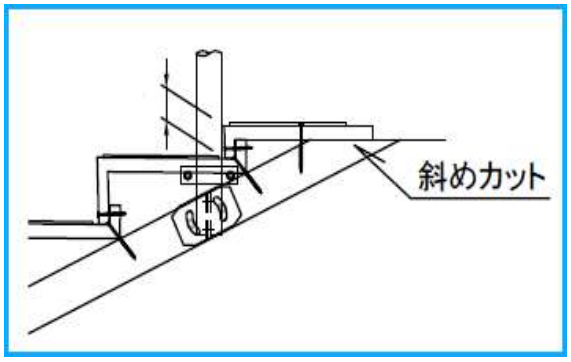


（図１）

2．角材は、上端部を地盤レベルに合わせて直角にカット（図２）、又は斜めカット（図３）し、踏み面上部からコーススレッド 100L で締め付けます。

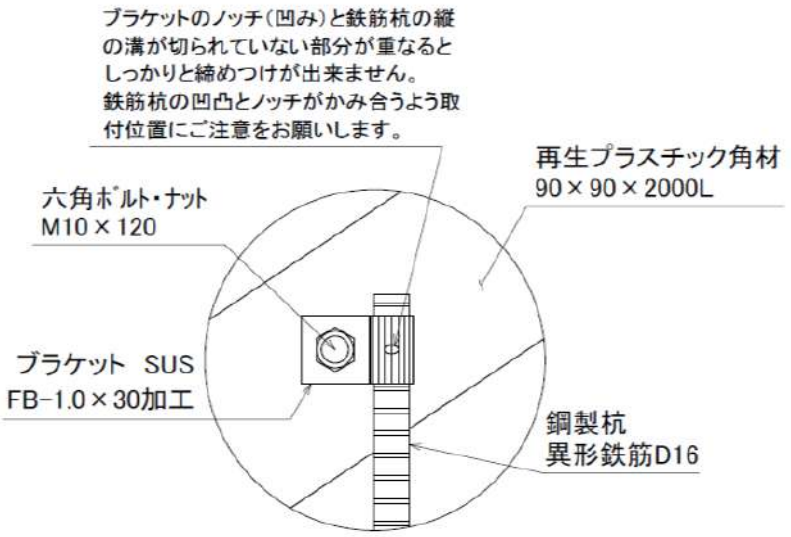


（図２）



（図３）

◎鉄筋杭とブラケットについて



※鉄筋杭は貫通ボルトで締結してください。
コーチスクリューボルト類は使用しないでください。

◎保管方法について

リバーザー・ステップは再生材を使用しています。気温差で伸び縮みすることがあります。
直射日光を避けブルーシート等で覆って保管願います。

施工例　現場写真

硬い地山取付階段と

本体取付手摺

踊り場設置例

手摺支持金具施工例

シールコンクリート面

特殊施工例

曲がり部　施工例

コンクリート枠

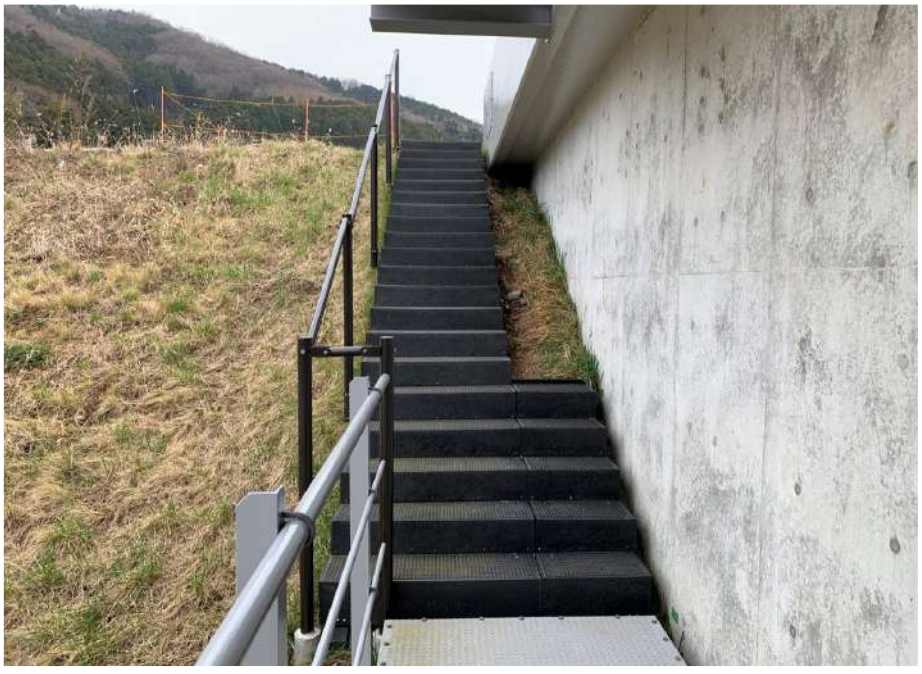
鉄筋杭使用

コンクリート面取付例

（橋梁脇コンクリートブロック）

橋梁階段

（下地：シールコンクリート）

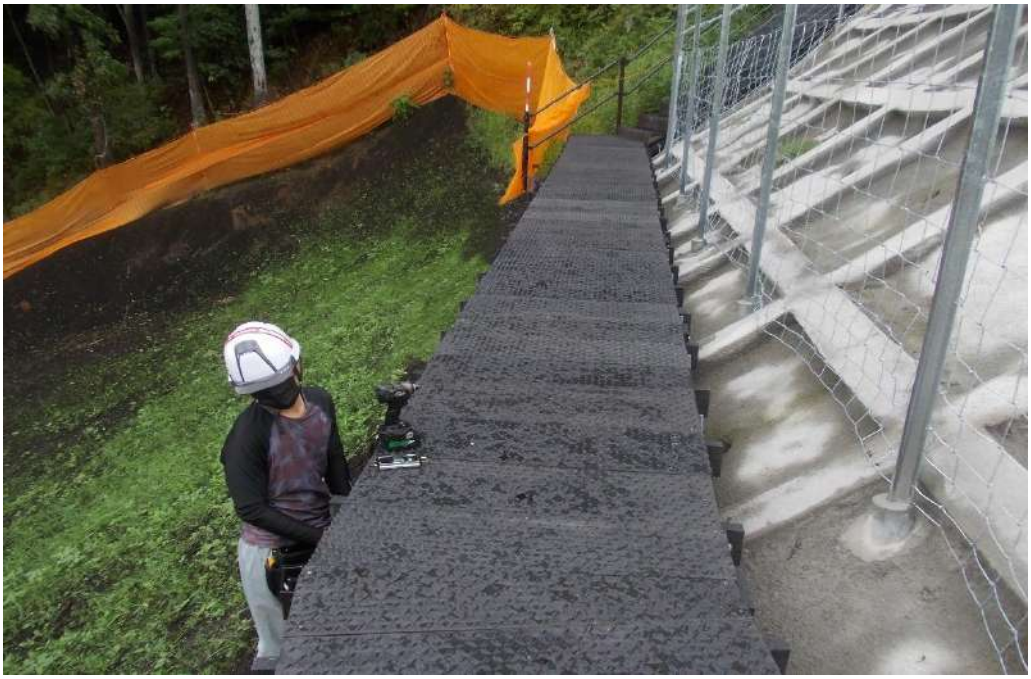


橋梁階段

（下地：土砂）

法面通路・階段

（下地角材）



（床板材取付）

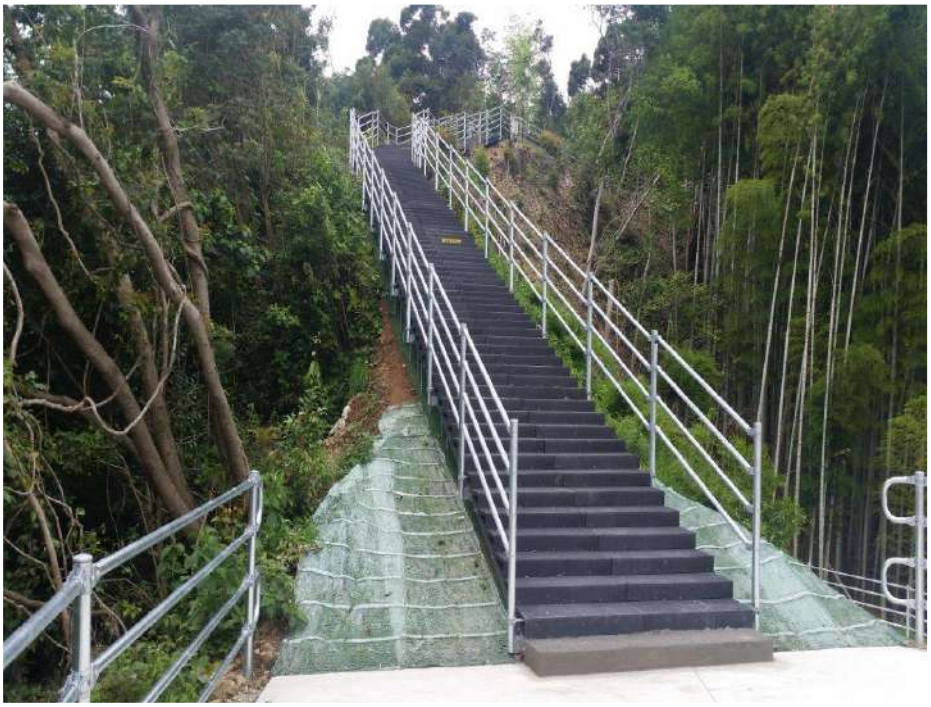
（通路・階段）

柔らかい地山取付

横連結施工例

連結板使用

2000 幅(1000 幅 ＋ 1000 幅)



1500 幅(750 幅 ＋ 750 幅)

（防草シート敷面）

吹付けコンクリート面取付

柔らかい地山取付

横連結施工例

連結板使用

1450 幅(1000 幅 ＋ 450 幅)

避難階段

（上部ステージ有）

避難階段

（横連結施工例）

硬い地山取付

防草シート敷面

（弊社取扱い外）

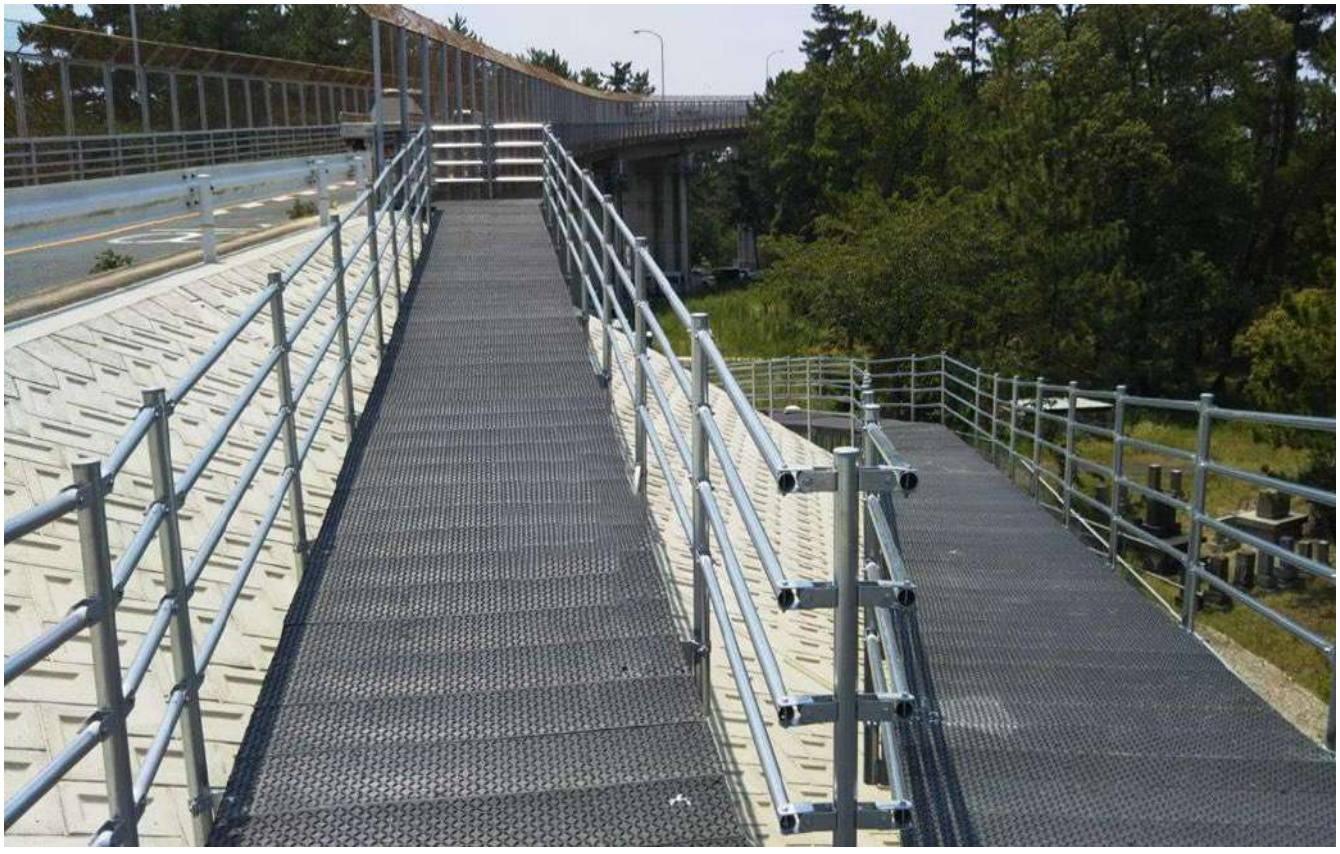
（里　道）

（高速道路法面）

避難階段

硬い地山取付

スロープ部　W=2000



最上段処理例

急傾斜(52 度以上)用　ステップ （梯子型）

吹付けコンクリート面　鉄筋杭使用

歩行者専用通路

水力発電所

沈下防止版

鉄筋杭・ブラケット・ボルトナット

硬い地山取付に使用するブラケットは

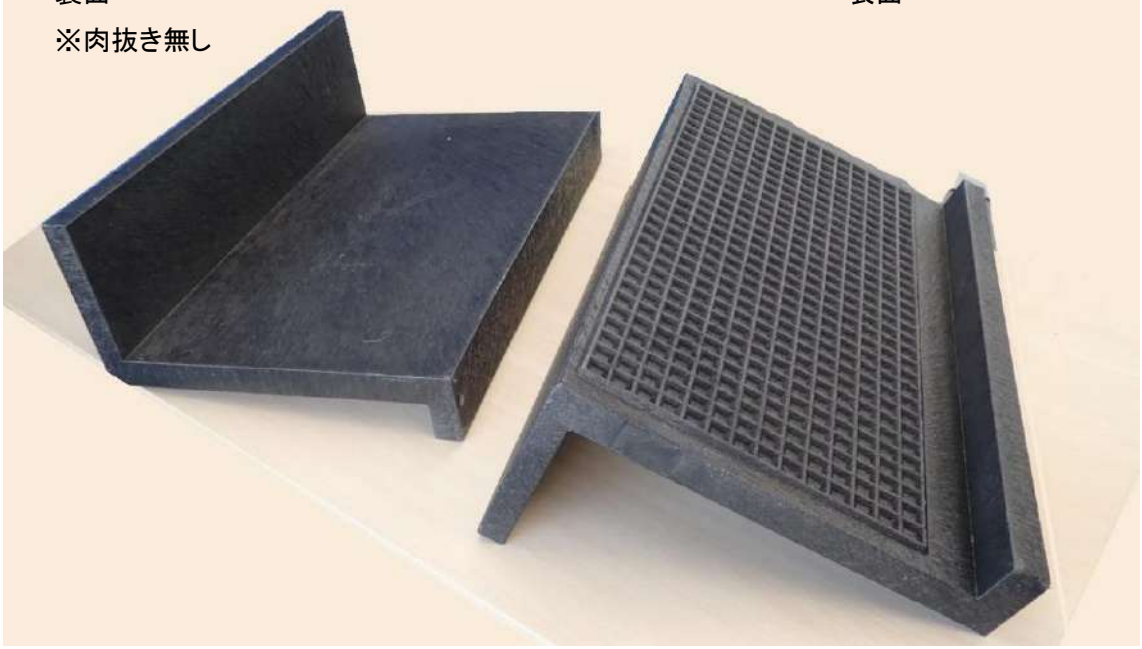
貫通ボルトで締結してください。

コーチスクリューの類は使用しないでください。

リバーザー・ステップ　本体

裏面
※肉抜き無し

表面



当社ホームページはこちら
https://www.plastic-recycle.net/

当社製品各種のご紹介の他
下記資料がダウンロード頂けます。
・リバーザー・ステップカタログ
・再生プラスチック製品カタログ
・再生プラスチック　擬木　カタログ
・製品図面各種
・CADデータ各種
・施工要領書

お問い合わせはこちら
https://www.plastic-recycle.net/pages/5/

当社製品のお問合せ
・お見積のご依頼は、カタログのご請求は、こちらのフォームからご連絡ください。

新東化成株式会社
〒156-0052
東京都世田谷区経堂 1-18-12　VIC BLDG6 401
TEL:03-6413-7071 FAX:03-6413-7076
Email: saisei@shintokasei.jp
https://www.plastic-recycle.net/

販売店

2026.10